

3-1地区 足立一〜四丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	13.4千人(区内シェア:2.0%)	高齢者数	3.3千人(区内シェア:1.9%)
空白地域人口	空白地域なし	高齢化率	24.6%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	IV

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

- ①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
 (交通)・東武伊勢崎線の小菅駅(5,651人/日)、五反野駅(35,634人/日)が整備されている。
 ・バス系統数が7路線あり、運行本数は386本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や北千住駅方面。
 (道路)・補136号の事業の促進が計画されている。
 (まち)・五反野駅前広場の整備にあわせ、駅周辺の商業地の活性化に資するまちづくりが計画されている。

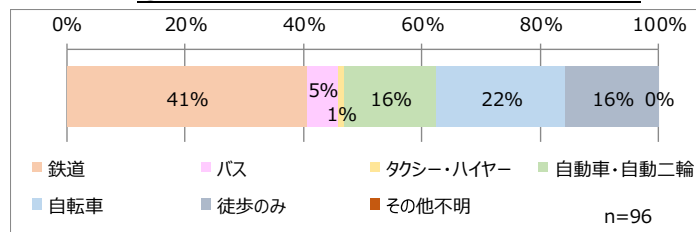
②移動状況〔自地区内〕約2割〔他地区〕3-2地区、1-5地区への移動が多い。

- ・不便を感じている人の行き先は、3-2地区、2-5地区が多い。

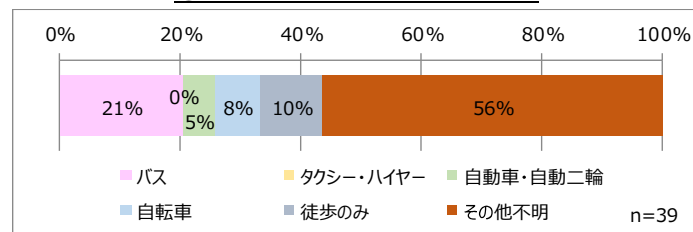
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道の利用が多い。
 ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 ・鉄道利用者の利用駅は82%が「五反野駅」、14%が「小菅駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



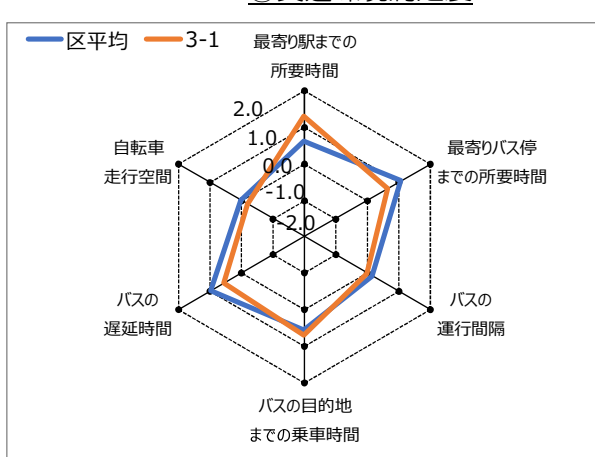
②交通環境満足度

- ・「最寄りバス停までの所要時間」、「バスの運行間隔および遅延時間」、「自転車走行空間」に対する満足度が低い。

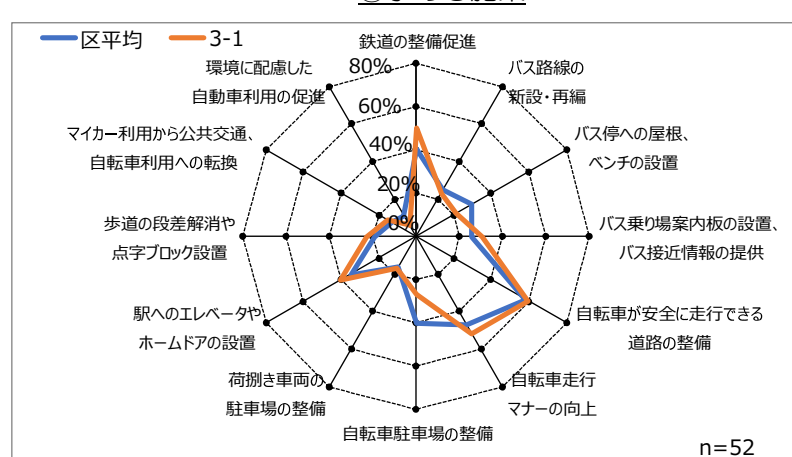
③求める施策

- ・「バスに関する運行情報の提供」や「自転車走行マナーの向上」に関する要望が多い。
- ・不便を解消するために求められる交通手段は自動車・二輪車。

②交通環境満足度

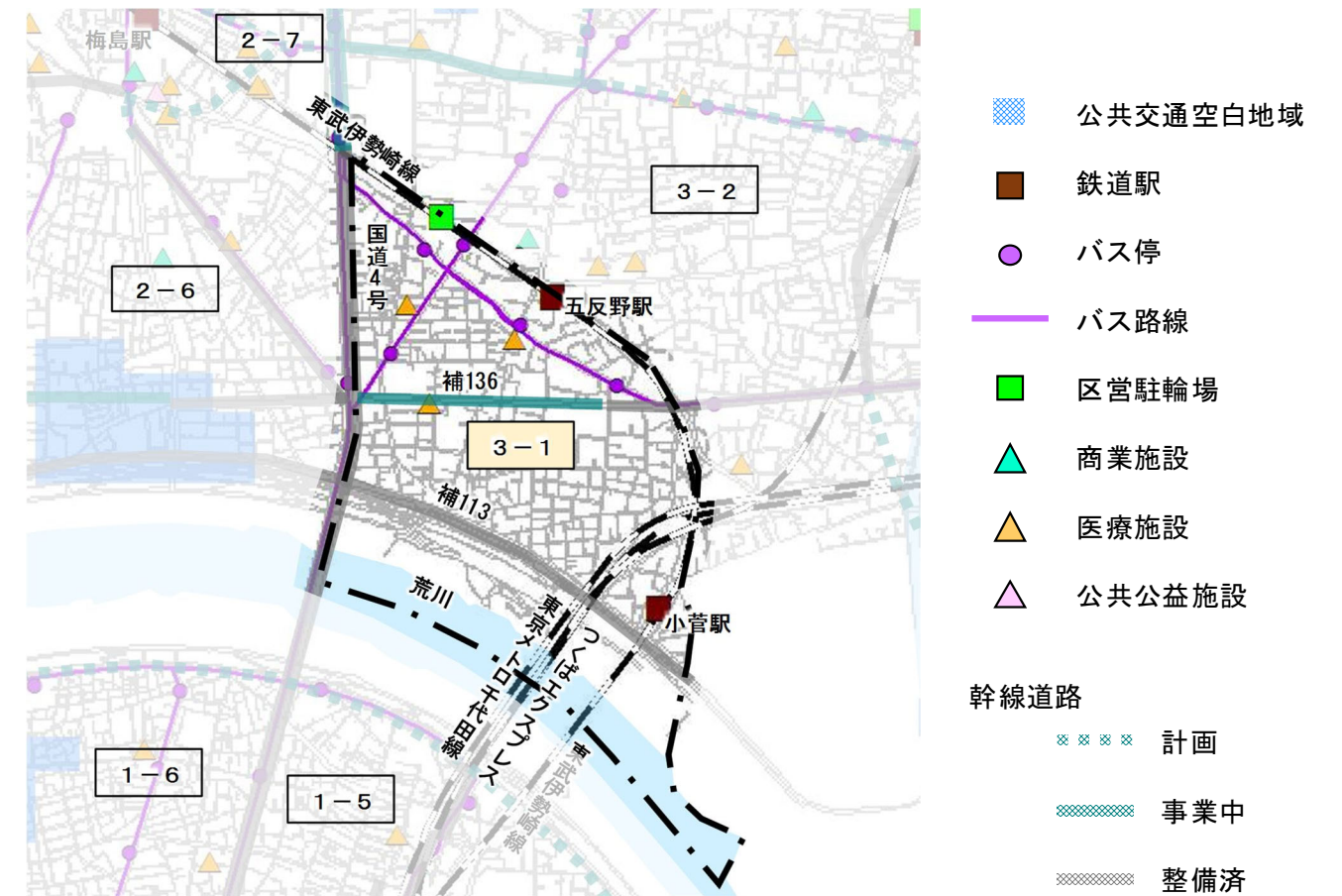


③求める施策

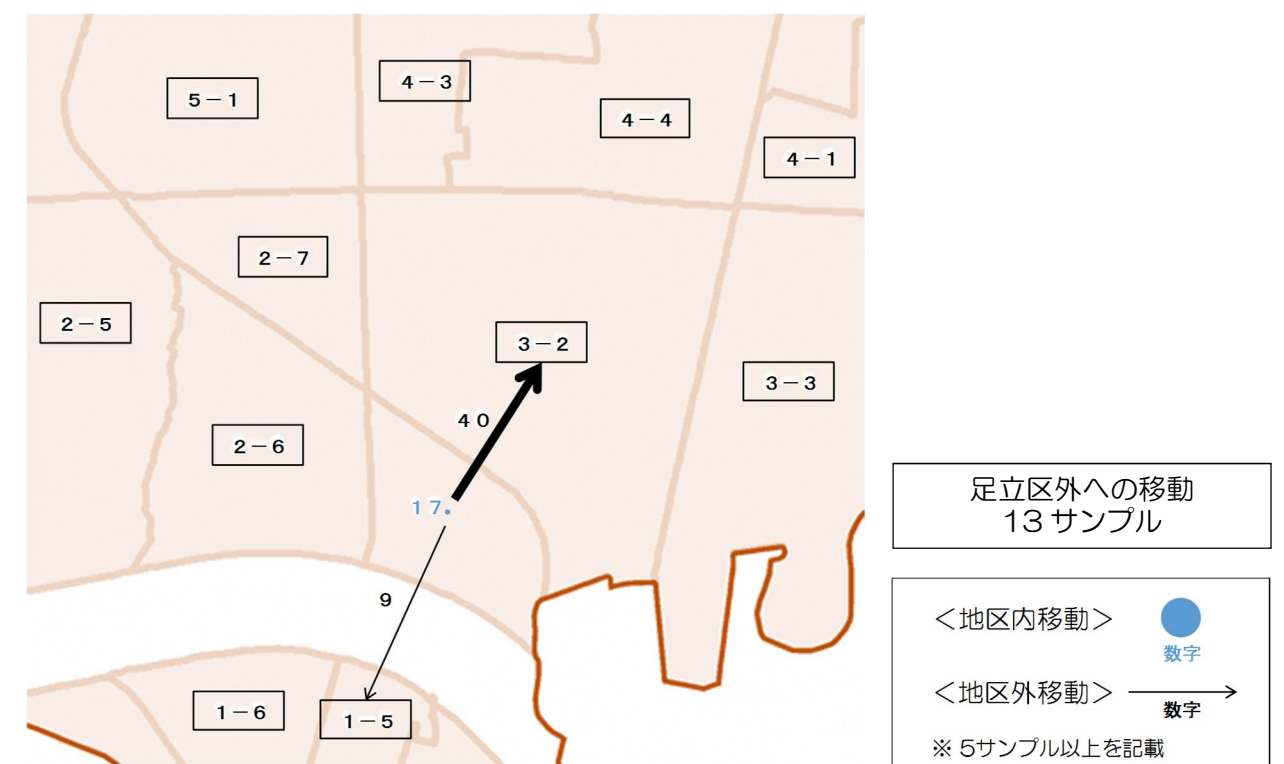


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



3-2地区 青井一～六丁目、弘道一・二丁目、中央本町一～五丁目、西綾瀬一～四丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	48.1千人(区内シェア:7.0%)	高齢者数	12.1千人(区内シェア:7.1%)
空白地域人口	0.5千人(区内シェア:1.7%)	高齢化率	25.1%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	Ⅲ

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

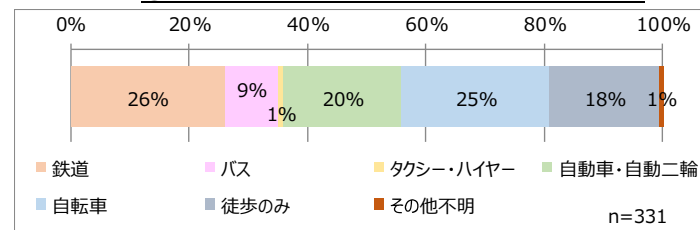
①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
 (交通)・東武伊勢崎線の五反野駅(35,634人/日)、つくばエクスプレスの青井駅(12,650人/日)が整備。
 ・バス系統数が18路線あり、運行本数は748本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や北千住駅、綾瀬方面。
 (道路)・補138号(中央本町、綾瀬新橋)、補140号の事業促進、補256号の事業化が計画されている。
 (まち)・中央本町地区および青井地区のまちづくりが計画されている。

②移動状況〔自地区内〕約5割〔他地区〕3-3地区、4-4地区、1-5地区への移動が多い。
 ・不便を感じている人の行き先は、3-2地区、3-3地区が多い。

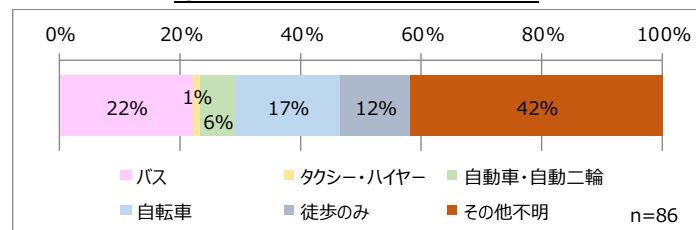
【交通に関する区民意識調査】

①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道および自転車の利用が多い。
 ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 ・鉄道利用者の利用駅は53%が「五反野駅」、24%が「青井駅」、13%が「綾瀬駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



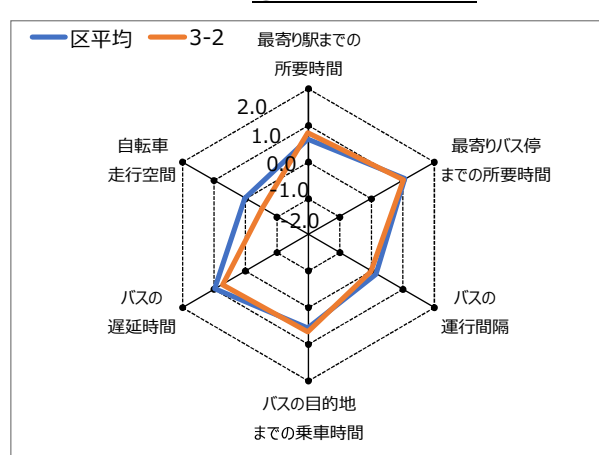
②交通環境満足度

・「最寄りバス停までの所要時間」、「バスの運行間隔および遅延時間」、「自転車走行空間」に対する満足度が低い。

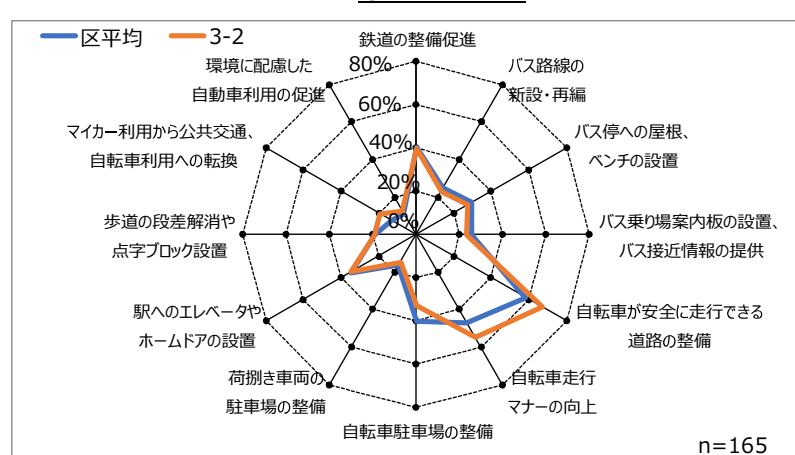
③求める施策

・「自転車が安全に走行できる道路の整備」や「自転車走行マナーの向上」など、自転車に関する要望が多い。
 ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度



③求める施策

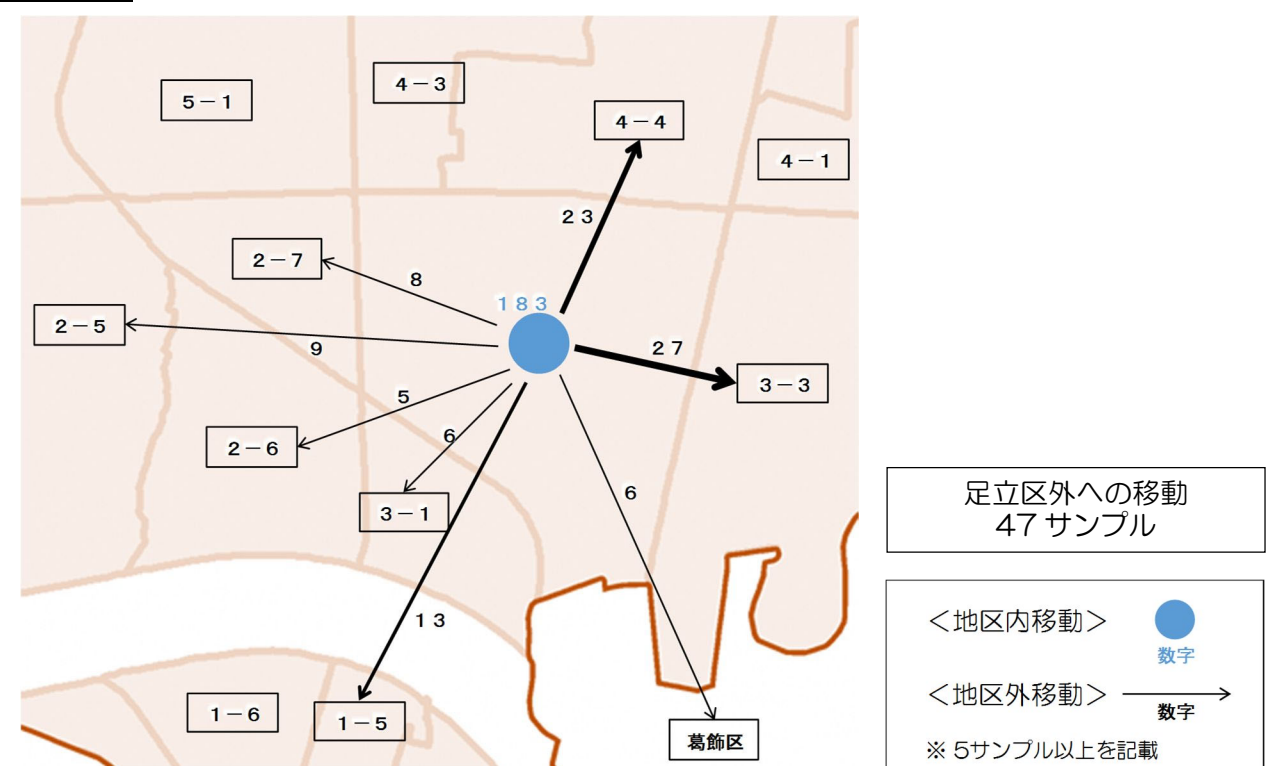


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



3-3地区 綾瀬一〜七丁目、加平一丁目、東和一〜五丁目、東綾瀬一〜三丁目、谷中一・二丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	62.6千人(区内シェア:9.1%)	高齢者数	12.2千人(区内シェア:7.2%)
空白地域人口	0.2千人(区内シェア:0.6%)	高齢化率	19.5%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	IV

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
(交通)・東京メトロの綾瀬駅(88,393人/日)、北綾瀬駅(29,278人/日)が整備されている。

・バス系統数が23路線あり、運行本数は1,146本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や綾瀬駅方面。

(道路)・北綾瀬駅の交通広場の設置など、駅前の交通結節機能の向上が計画されている。

(まち)・綾瀬・北綾瀬エリアデザイン対象エリア。東綾瀬公園東側の街区は地区計画が策定されている。

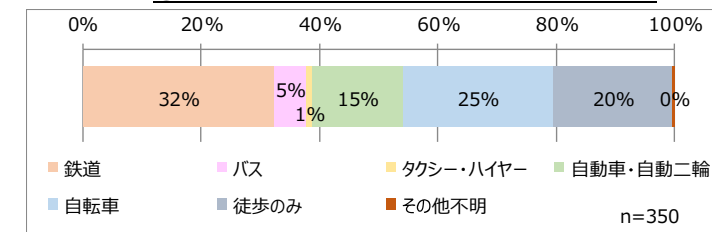
②移動状況〔自地区内〕約6割〔他地区〕1-5地区、4-1地区、葛飾区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、3-3地区、葛飾区が多い。

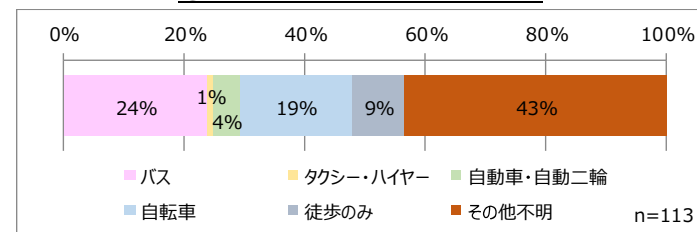
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は鉄道および自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は75%が「綾瀬駅」、15%が「北綾瀬駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

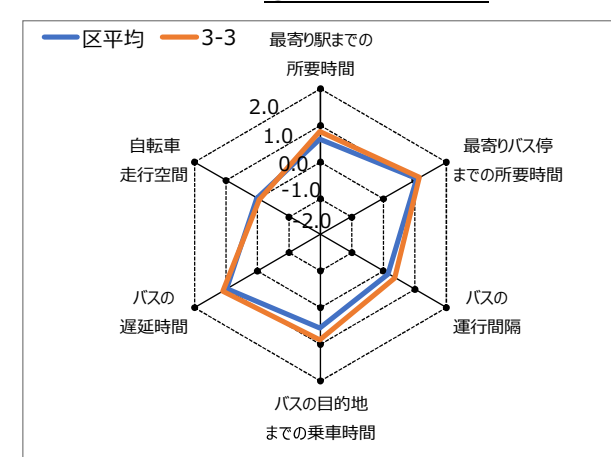
・区の平均と比較して、「自転車走行空間」に対する満足度が低い。

③求める施策

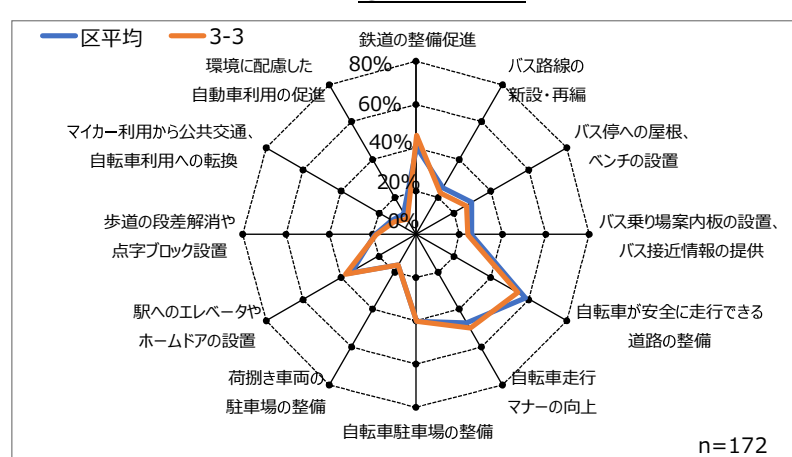
・区の平均と比較して、特徴のある求められる要望は見られない。

・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

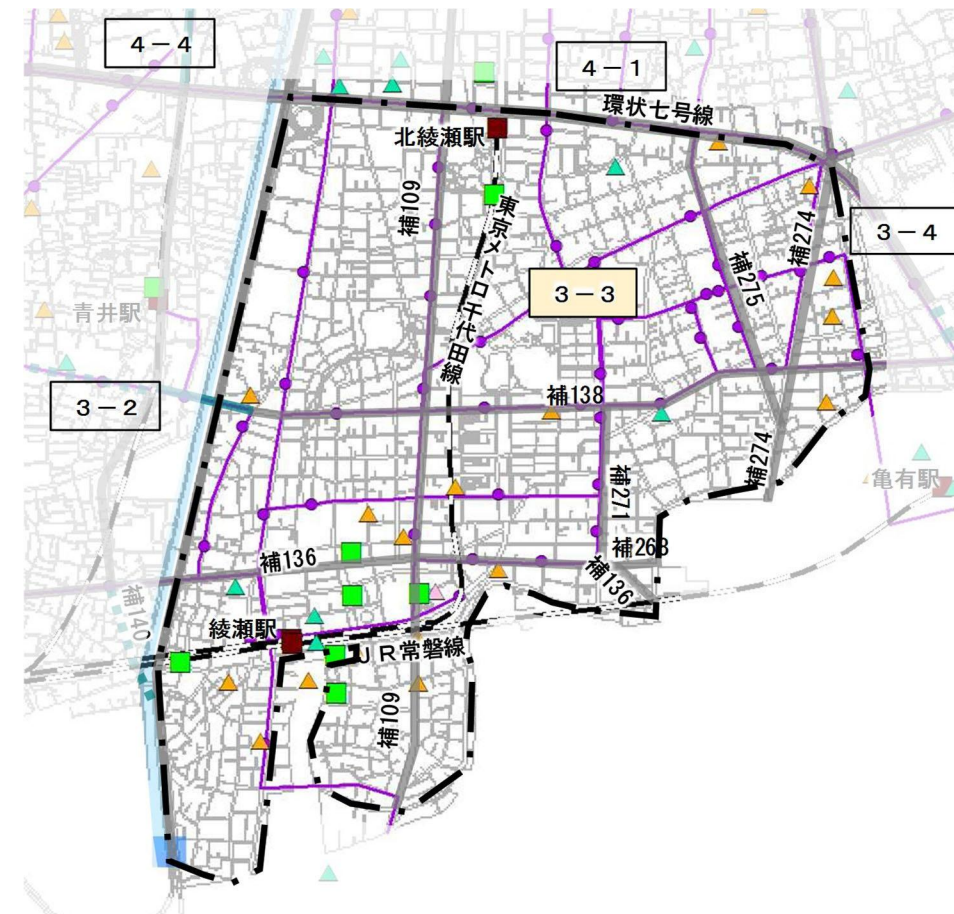


③求める施策



現状図

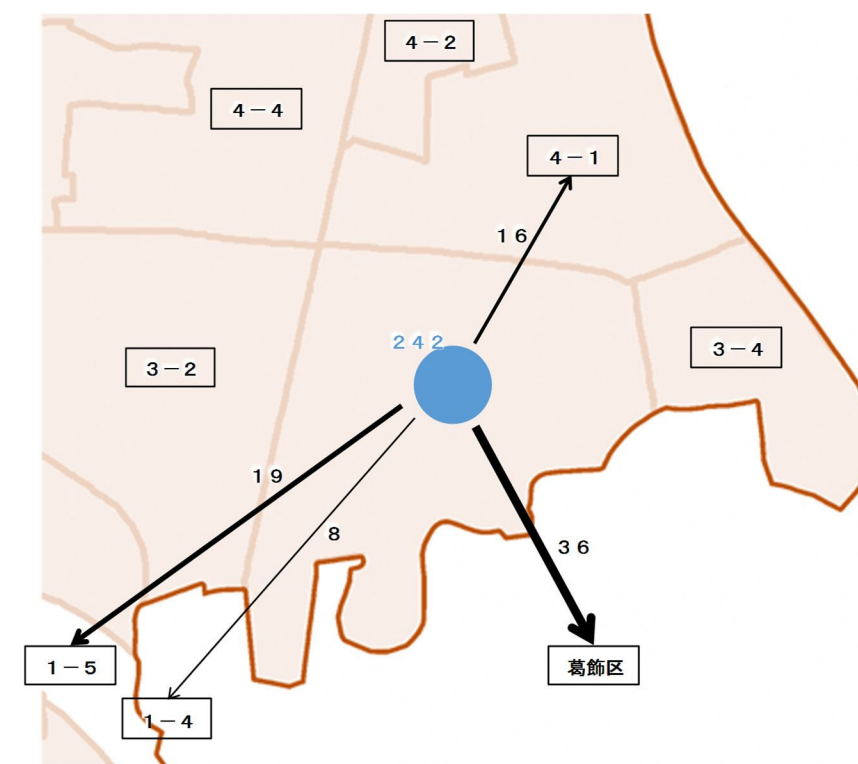
①交通道路まちづくりの状況



- 公共交通空白地域
- 鉄道駅
- バス停
- バス路線
- 区営駐輪場
- 商業施設
- 医療施設
- 公共公益施設

- 幹線道路
- 計画
 - 事業中
 - 整備済

②移動状況



足立区外への移動
80サンプル

- <地区内移動> ● 数字
- <地区外移動> → 数字

※5サンプル以上を記載

3-4地区 中川一～五丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	13.1千人(区内シェア:1.9%)	高齢者数	3.0千人(区内シェア:1.8%)
空白地域人口	1.1千人(区内シェア:3.3%)	高齢化率	23.2%(区平均24.8%)
不便度	C	対策方法	Ⅲ

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

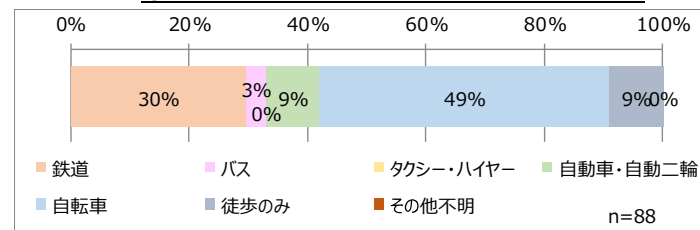
- ①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
 (交通)・鉄道駅は整備されておらず、地下鉄8号線の延伸とメトロセブンの整備促進が計画されている。
 ・バス系統数が14路線あり、運行本数は426本/日。主な行き先は亀有駅や綾瀬駅方面。
 (道路)・補138号の事業化の促進が計画されている。
 (まち)・地区南部は葛飾区とあわせて地区計画が策定されている。

- ②移動状況 [自地区内] 極めて少ない [他地区] 3-3地区、葛飾区への移動が多い。
 ・不便を感じている人の行き先は、葛飾区が多い。

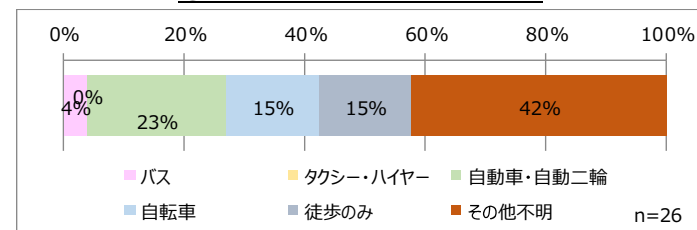
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道および自転車の利用が多い。
 ・駅までの交通手段としては自動車や自転車などの個別交通が多い。
 ・鉄道利用者の利用駅は「亀有駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



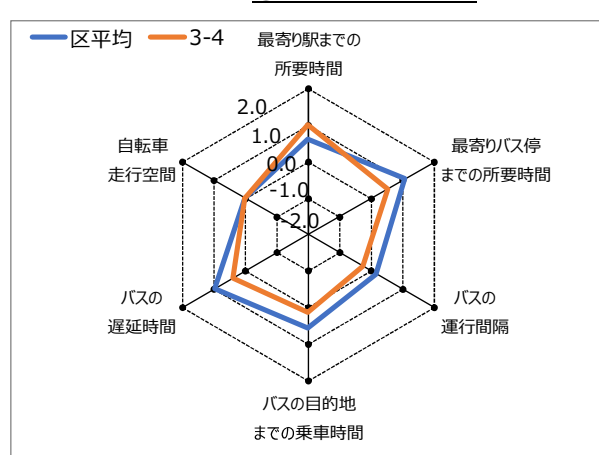
②交通環境満足度

- ・区の平均と比較して、「最寄りバス停までの所要時間などバスのサービス水準」に対する満足度が低い。

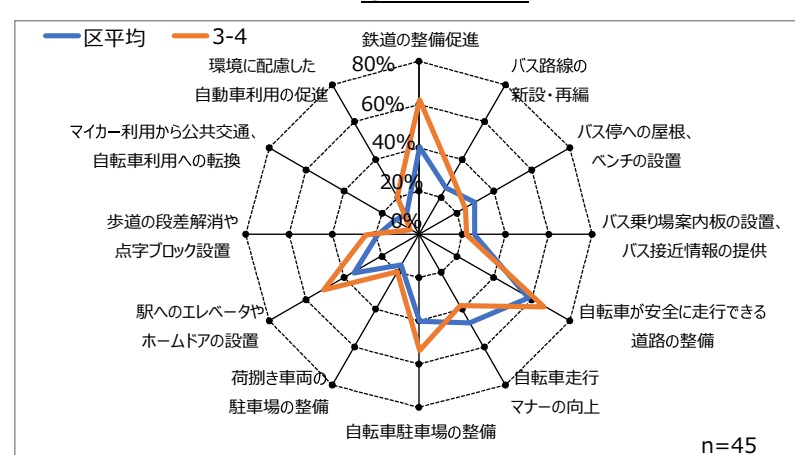
③求める施策

- ・「鉄道の整備促進」や「自転車が安全に走行できる道路の整備」に関する要望が多い。
 ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

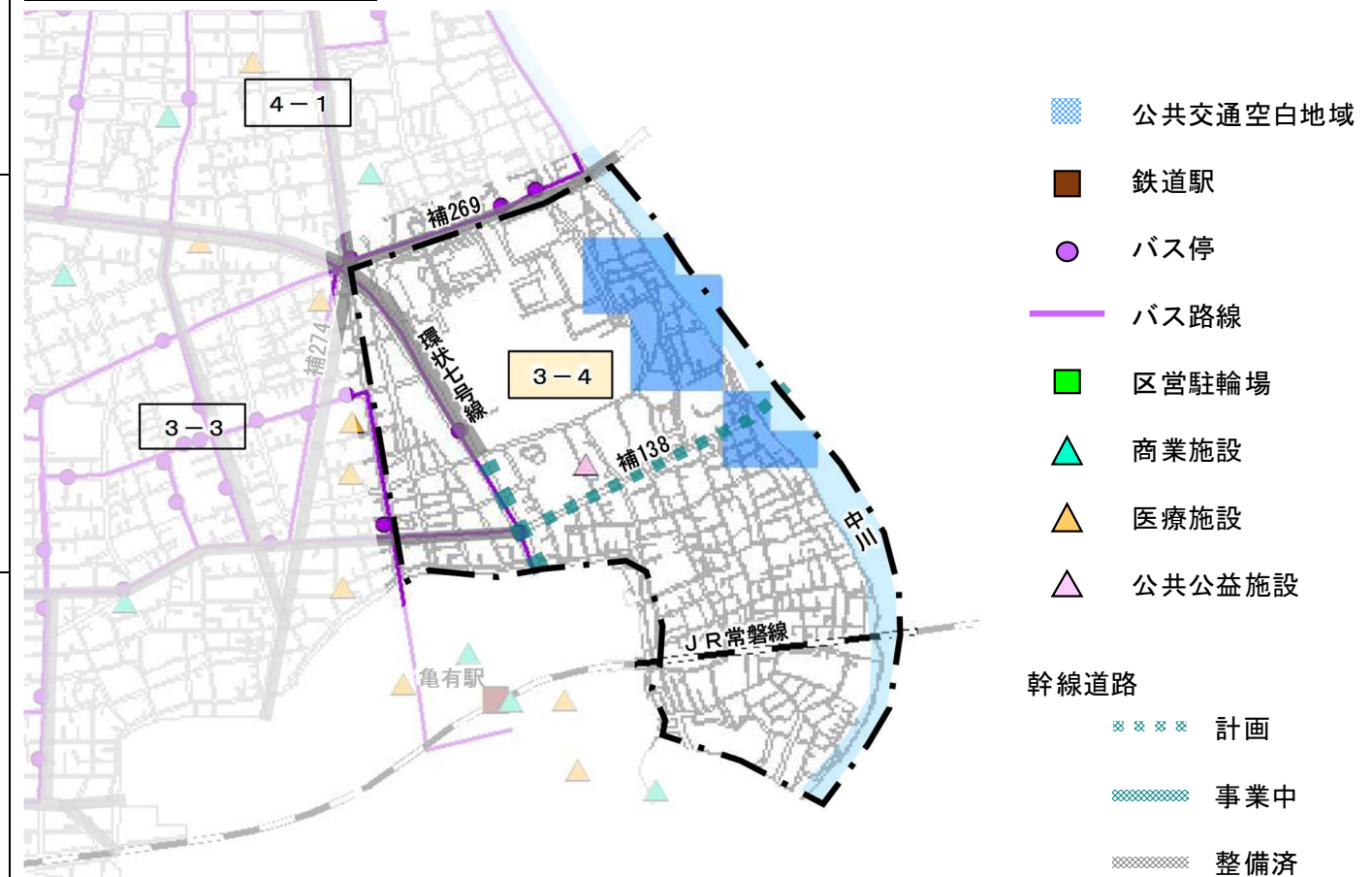


③求める施策

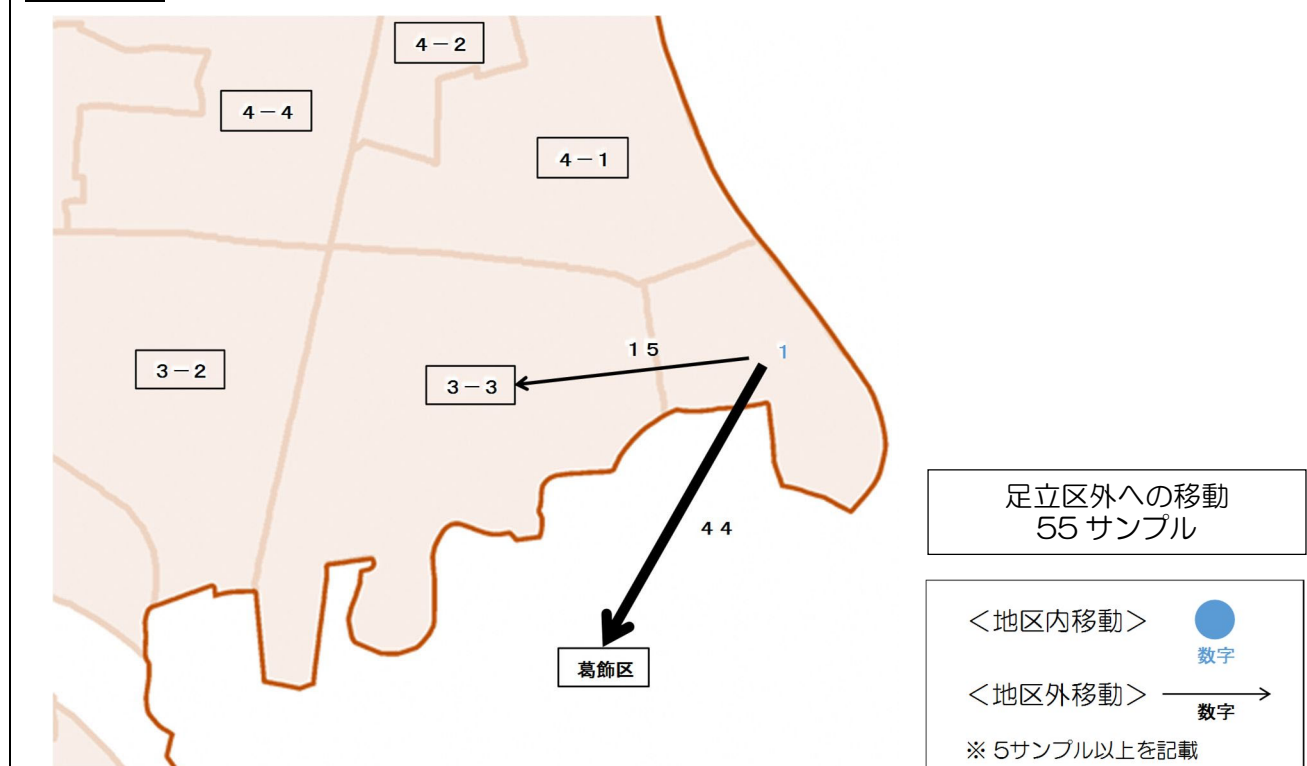


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



4-1 地区 大谷田一～五丁目、加平二・三丁目、佐野一・二丁目、辰沼一丁目、六木一～三丁目、谷中三～五丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	40.8千人(区内シェア:6.0%)	高齢者数	10.0千人(区内シェア:5.9%)
空白地域人口	0.9千人(区内シェア:2.8%)	高齢化率	24.4%(区平均24.8%)
不便度	A	対策方法	I

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く

(交通)・鉄道駅は整備されておらず、地下鉄8号線の延伸とメトロセブンの整備促進が計画されている。

・バス系統数が20路線あり、運行本数は891本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や綾瀬駅、六ツ木都住方面。

(道路)・北綾瀬駅の交通広場の設置、補259号の事業の推進、補109号の事業化の促進が計画されている。

(まち)・綾瀬・北綾瀬エリアデザイン対象エリア。北綾瀬駅勢圏の拡大に伴い、駅周辺の土地利用の再編が必要。

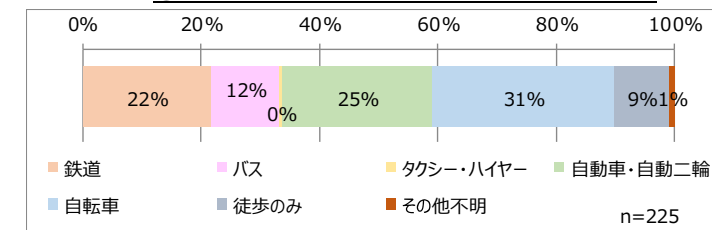
②移動状況〔自地区内〕約4割〔他地区〕3-3地区、4-2地区、葛飾区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、3-3地区が多い。

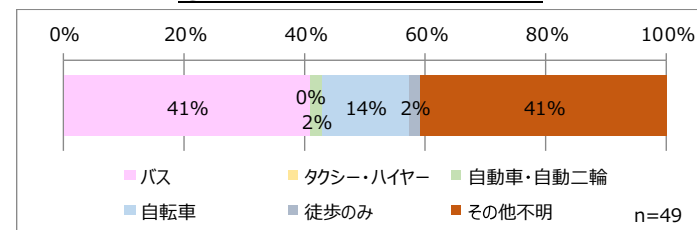
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は自動車・自動二輪および自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は52%が「北綾瀬駅」、25%が「綾瀬駅」、23%が「亀有駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

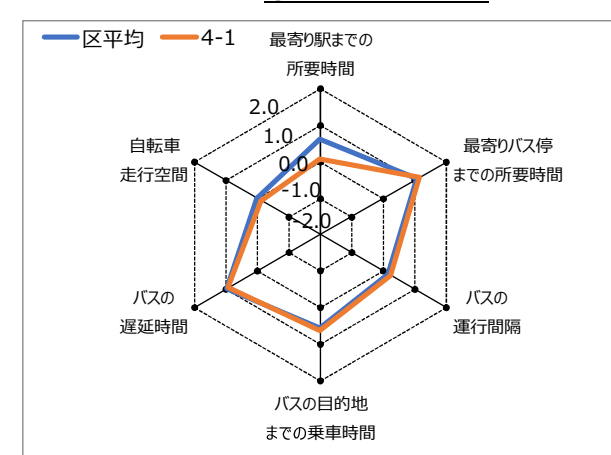
・区の平均と比較して、「最寄り駅までの所要時間」、「自転車走行空間」に対する満足度が低い。

③求める施策

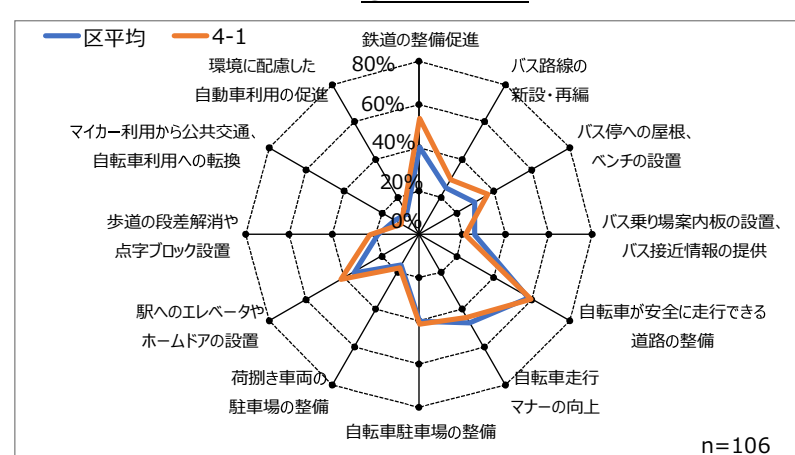
・「鉄道の整備促進」、「バス路線の新設・再編」や「バス停への屋根、ベンチの設置」に関する要望が多い。

・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

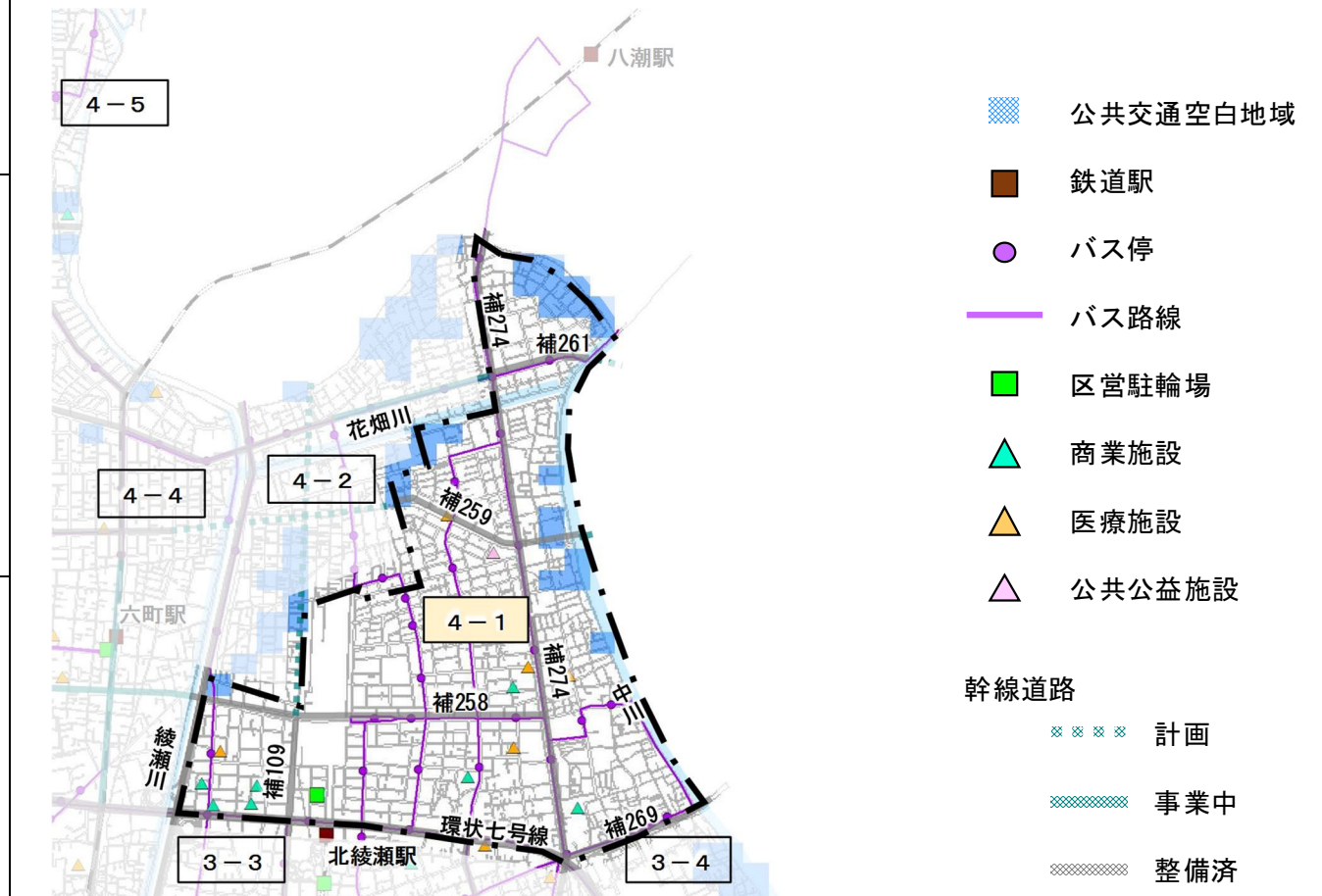


③求める施策

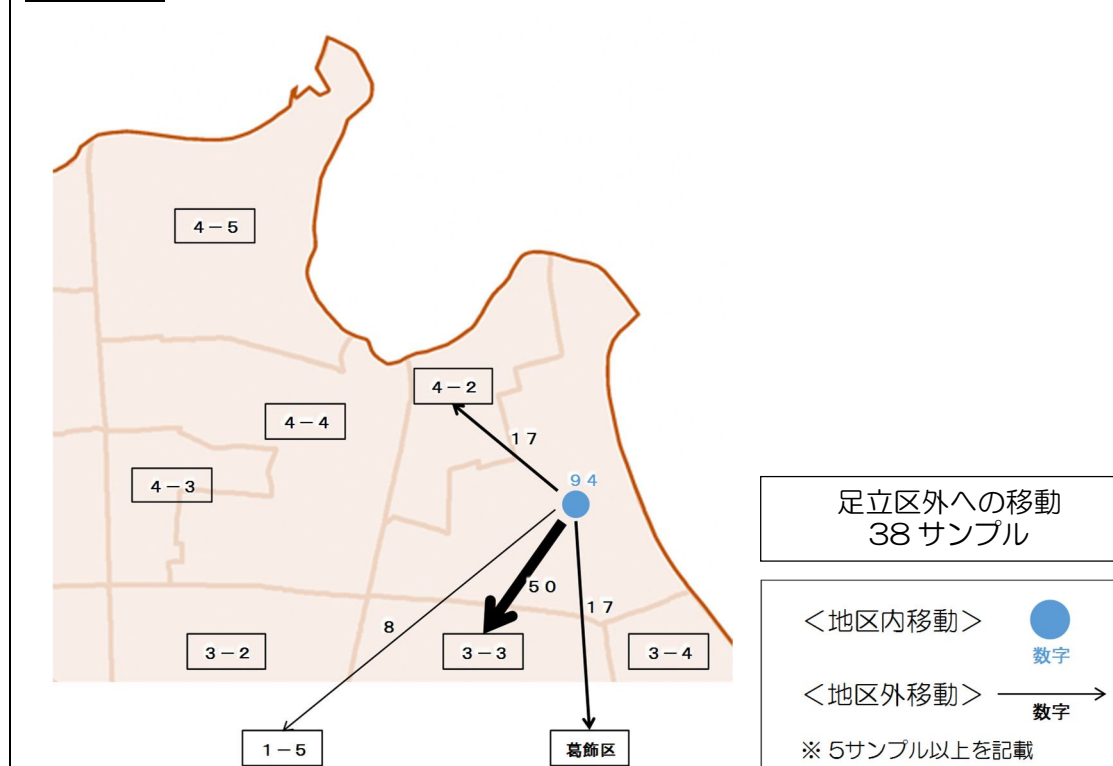


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



4-2地区 北加平町、神明一〜三丁目、神明南一・二丁目、辰沼二丁目、六木四丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	14.6千人(区内シェア:2.1%)	高齢者数	3.6千人(区内シェア:2.1%)
空白地域人口	3.4千人(区内シェア:10.6%)	高齢化率	24.7%(区平均24.8%)
不便度	A	対策方法	I

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
(交通)・鉄道駅は整備されておらず、地下鉄8号線の延伸が計画されている。

・バス系統数が11路線あり、運行本数は539本/日。主な行き先は綾瀬駅や亀有駅、六ツ木都住方面。

(道路)・補261号の事業の促進、補109号および補259号の整備が計画されている。

(まち)・補261号の拡幅整備とともに、沿道周辺の地区計画未指定地区における地区計画の策定が必要。

②移動状況〔自地区内〕約2割〔他地区〕4-1地区、3-3地区、4-4地区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、4-2地区、3-3地区が多い。

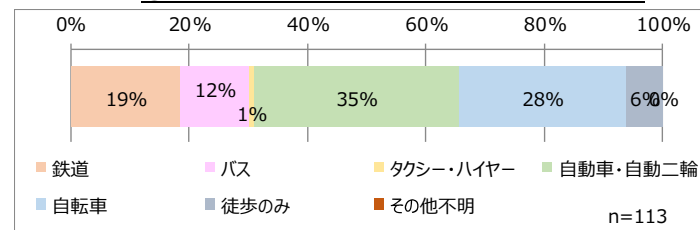
【交通に関する区民意識調査】

①移動手段 ・日常の移動における交通手段は自動車・自動二輪および自転車の利用が多い。

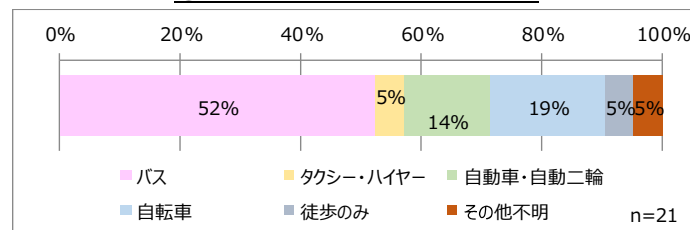
・駅までの交通手段としてはバスが多い。

・鉄道利用者の利用駅は40%が「綾瀬駅」、24%が「北綾瀬駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

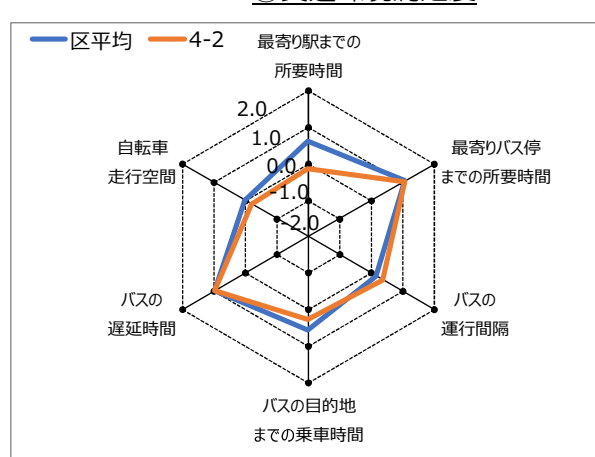
・「最寄り駅までの所要時間」、「バスの目的地までの乗車時間」、「自転車走行空間」に対する満足度が低い。

③求める施策

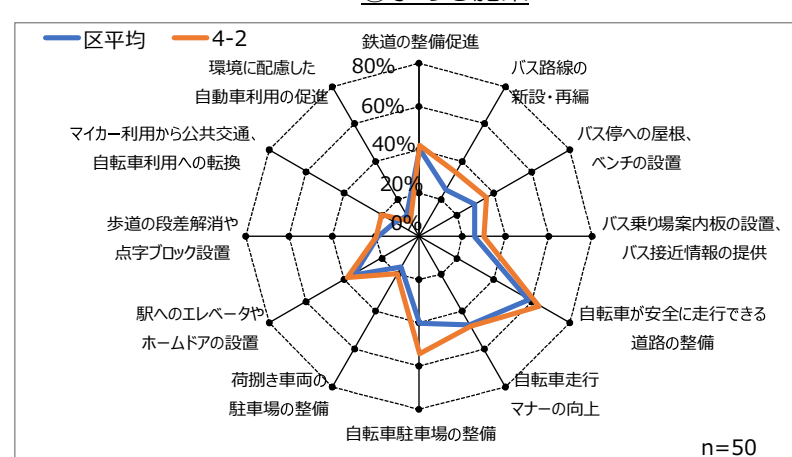
・「バス路線の新設・再編」や「バス停への屋根、ベンチの設置」など、バスに関する要望が多い。

・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

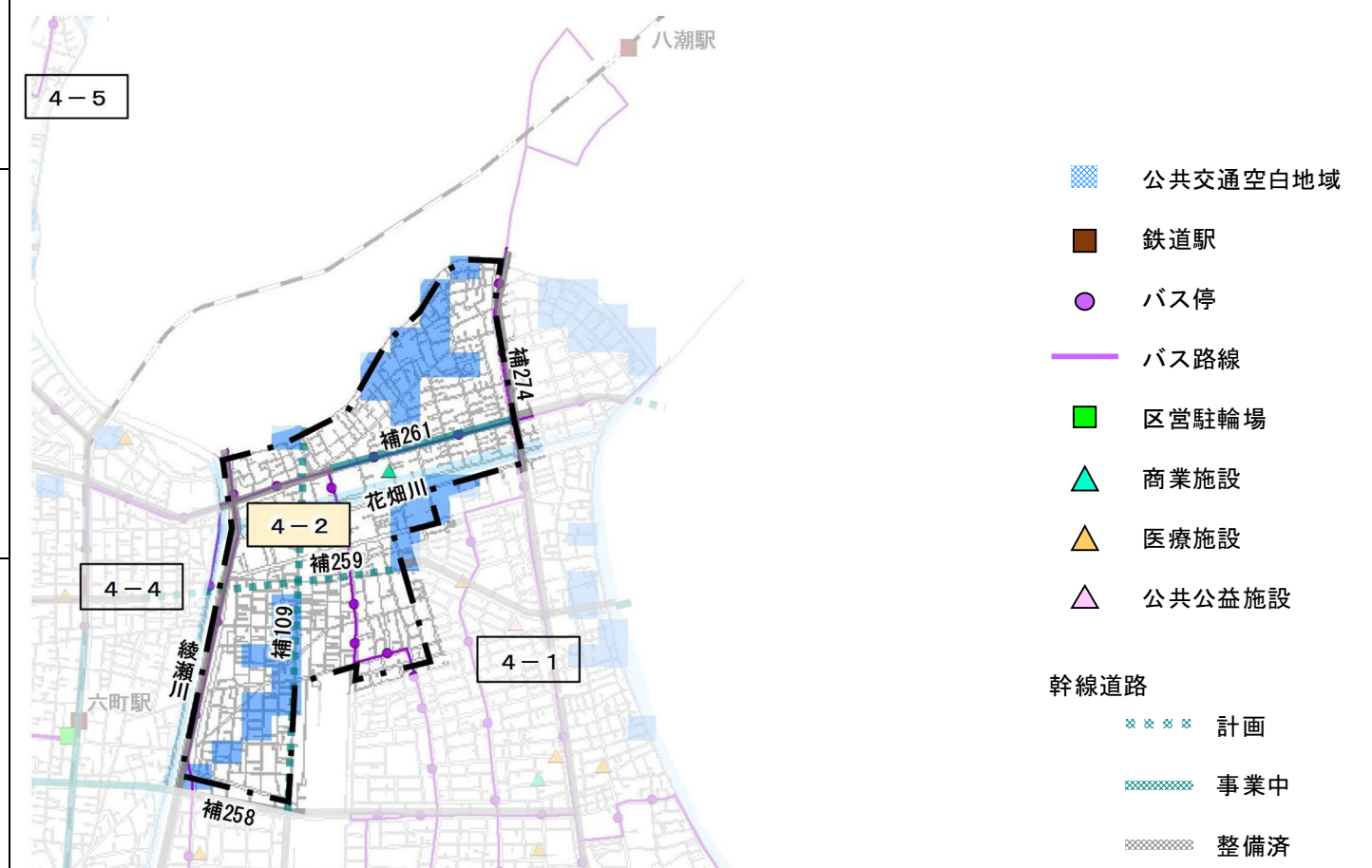


③求める施策

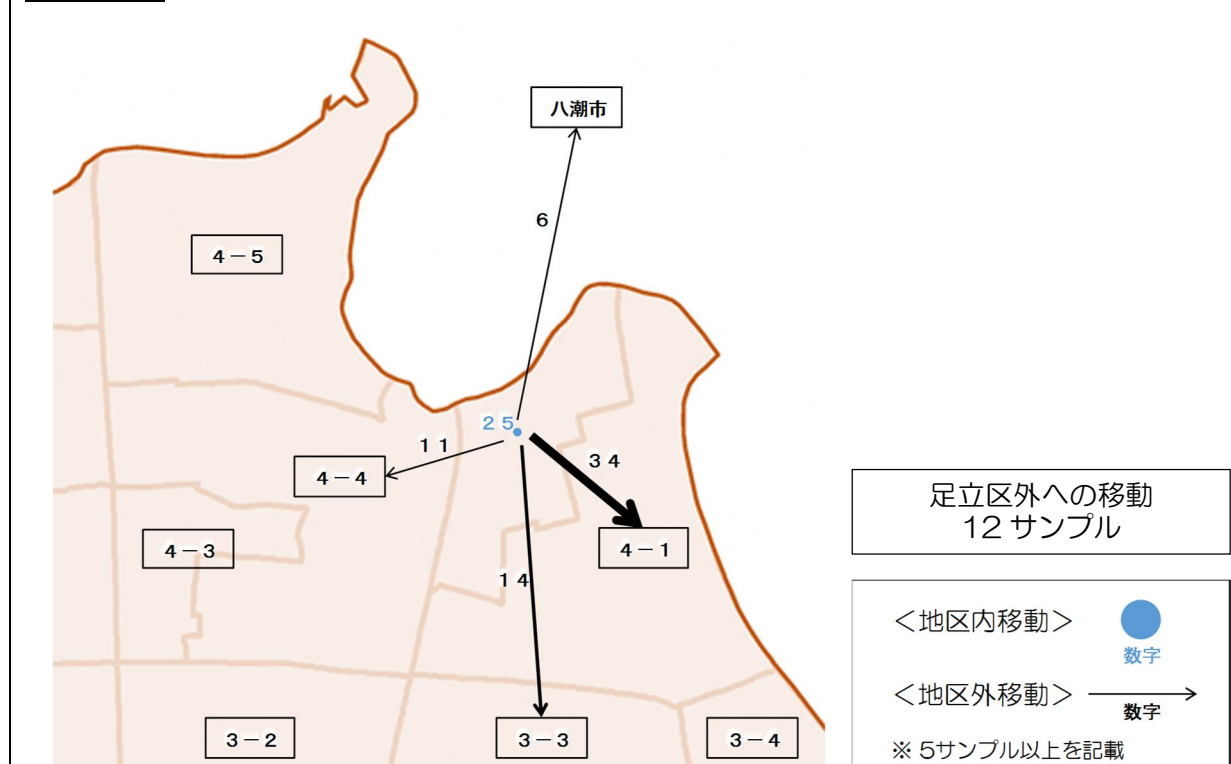


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



4-3地区 東六月町、平野一〜三丁目、保塚町

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	10.4千人(区内シェア:1.5%)	高齢者数	2.8千人(区内シェア:1.7%)
空白地域人口	2.0千人(区内シェア:6.1%)	高齢化率	27.1%(区平均24.8%)
不便度	B	対策方法	I

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く(交通)・鉄道駅は整備されておらず、メトロセブンの整備促進が計画されている。

- ・バス系統数が13路線あり、運行本数は439本/日。主な行き先は竹ノ塚や六町、北千住、花畑団地方面。
- (道路)・主要幹線道路として国道4号、環状七号線、幹線道路として補256号、補258号の位置付け。
- (まち)・地区全体が土地区画整理事業を施行すべき区域となっており、地区計画が策定されている。

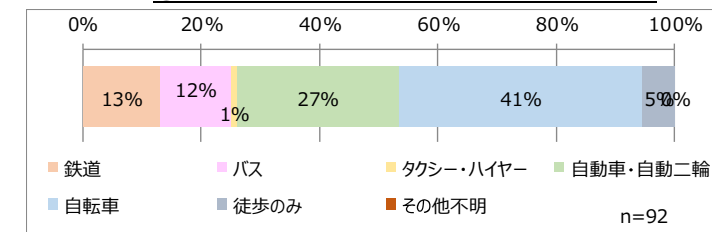
②移動状況〔自地区内〕約1割〔他地区〕4-4地区への移動が多い。

- ・不便を感じている人の行き先は、4-4地区が多い。

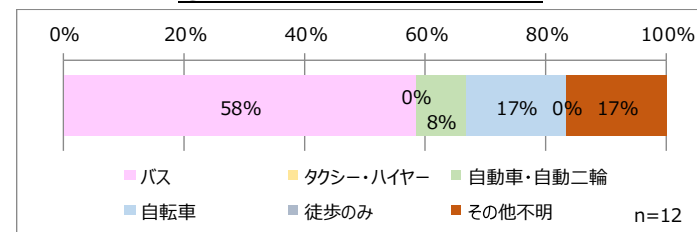
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は「西新井駅」、「六町駅」している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



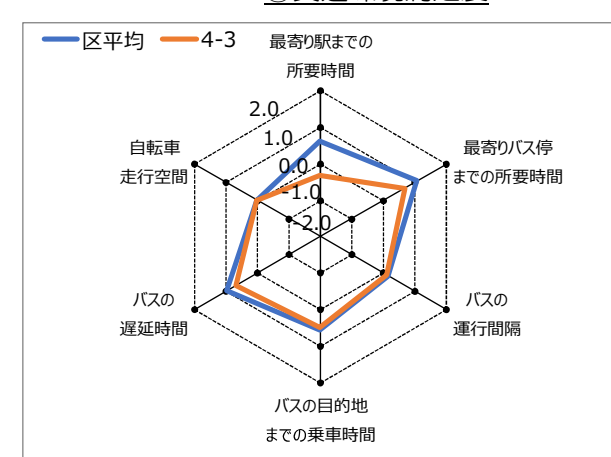
②交通環境満足度

- ・区の平均と比較して、自転車走行空間を除く「全項目」に対する満足度が低い。

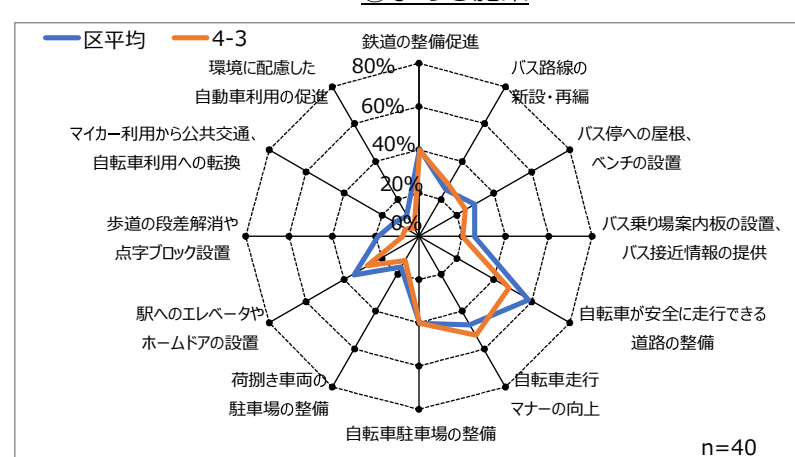
③求める施策

- ・「鉄道の整備促進」や「バス路線の新設・再編」に関する要望が多い。
- ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

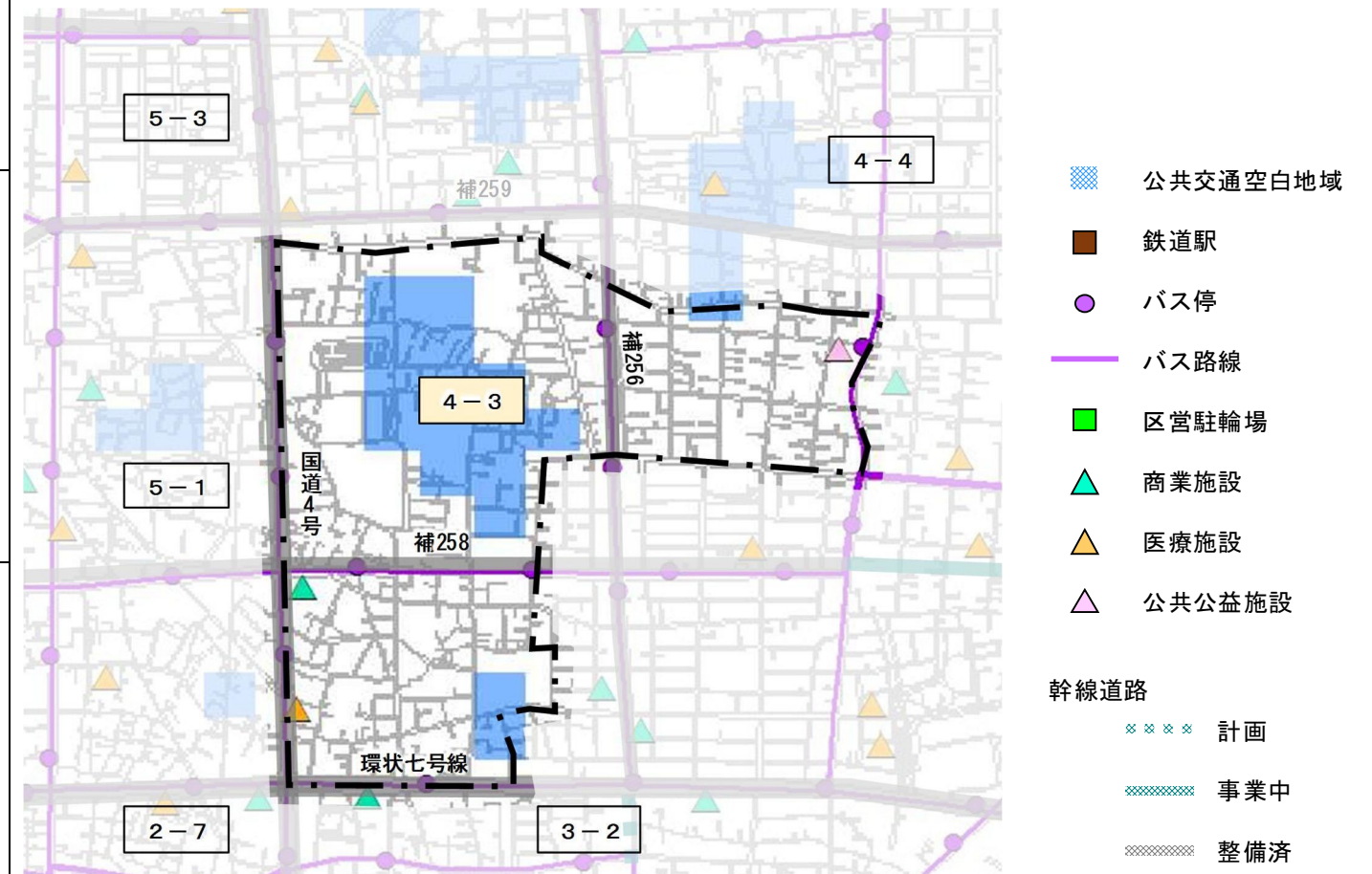


③求める施策

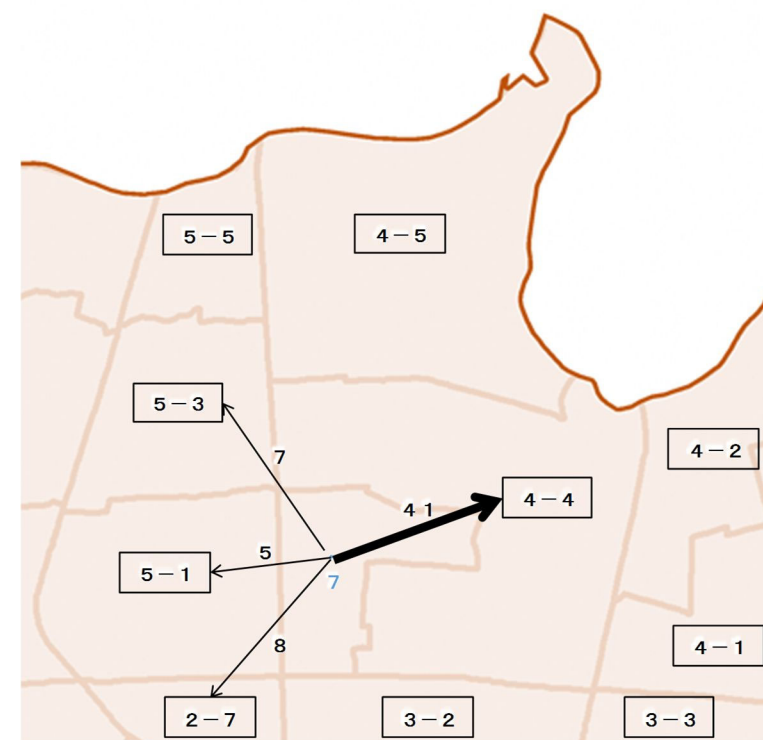


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



足立区外への移動
5サンプル

<区内移動> ● 数字
<区外移動> → 数字
※5サンプル以上を記載

4-4地区 西加平一・二丁目、東保木間一・二丁目、一ツ家一～四丁目、保木間一・二丁目、南花畑一～三丁目、六町一～四丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	35.5千人(区内シェア:5.2%)	高齢者数	8.4千人(区内シェア:4.9%)
空白地域人口	3.3千人(区内シェア:10.1%)	高齢化率	23.7%(区平均24.8%)
不便度	B	対策方法	I

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く

(交通)・つくばエクスプレスの六町駅(27,492人/日)が整備されている。

・バス系統数が17路線あり、運行本数は636本/日。主な行き先は竹ノ塚や六町、北千住、花畑団地方面。

(道路)・補140号や補258号の土地区画整理事業による事業促進、補259号の事業化が計画されている。

(まち)・六町エリアデザイン対象エリア。地区の東部および東京未来大学六町グラウンド周辺は地区計画が策定。

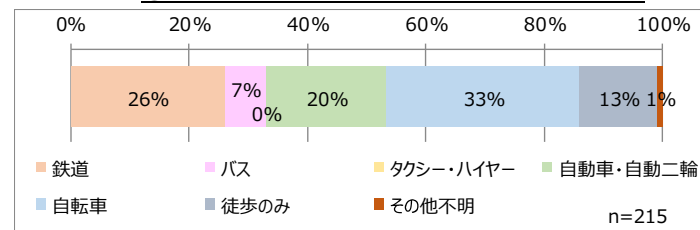
②移動状況〔自地区内〕約6割〔他地区〕3-2地区、5-3地区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、4-4地区、3-2地区が多い。

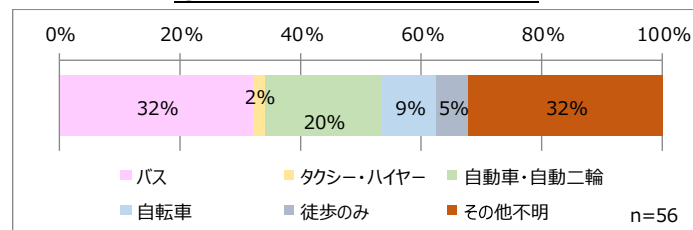
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は約7割が「六町駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

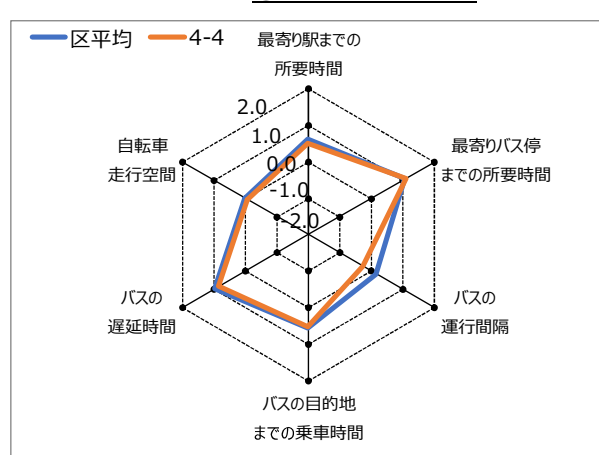
・区の平均と比較して、最寄りバス停までの所要時間を除く「全項目」に対する満足度が低い。

③求める施策

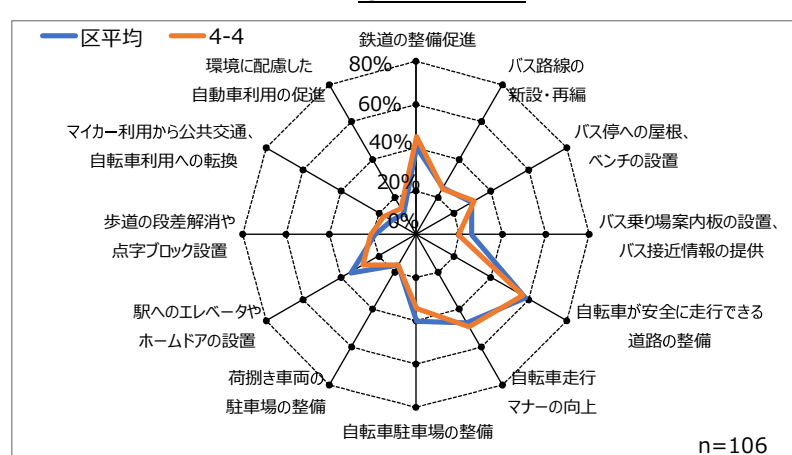
・区の平均と比較して、特徴のある求められる要望は見られない。

・不便を解消するために求められる交通手段は自動車・自動二輪。

②交通環境満足度

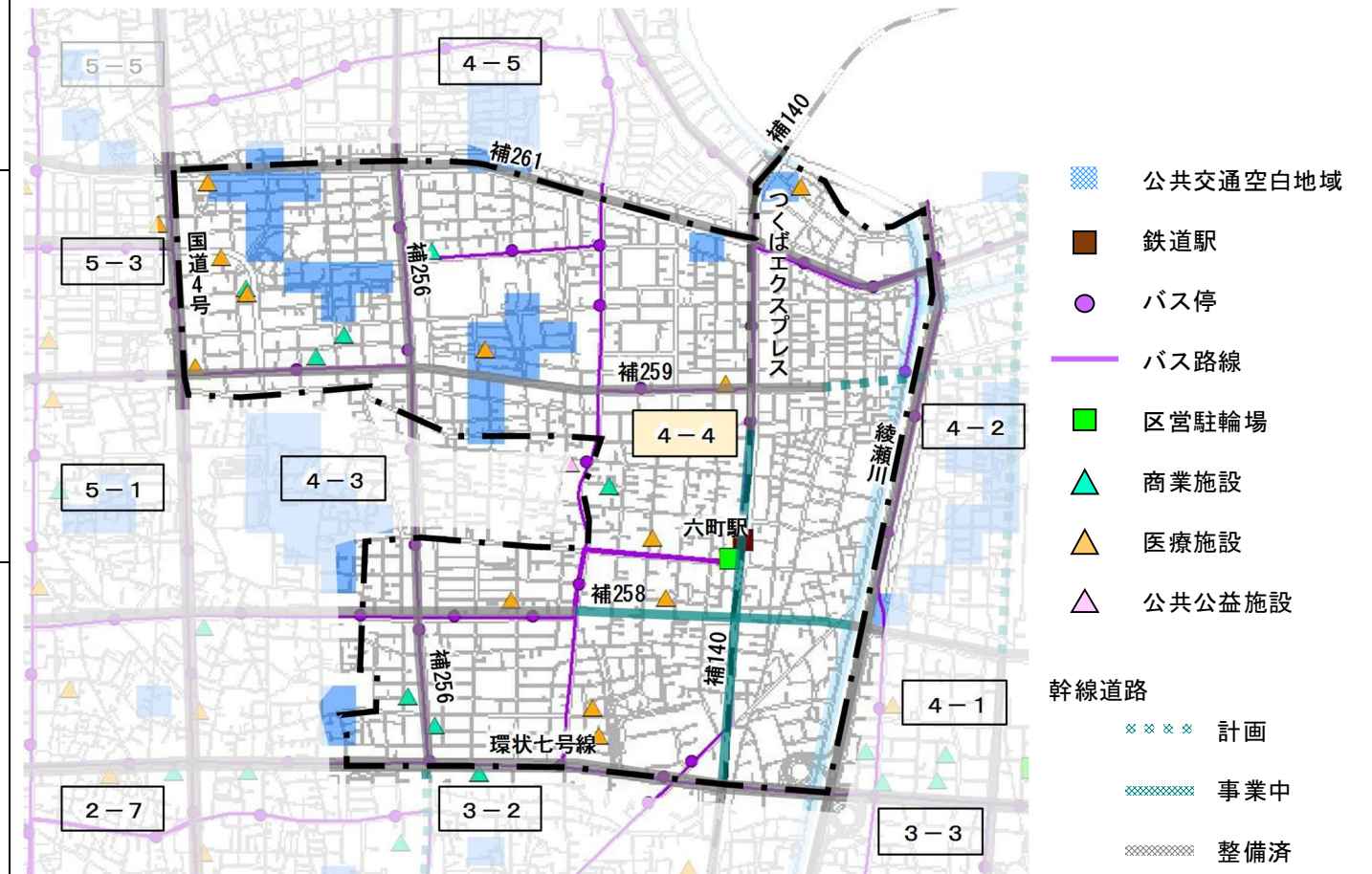


③求める施策

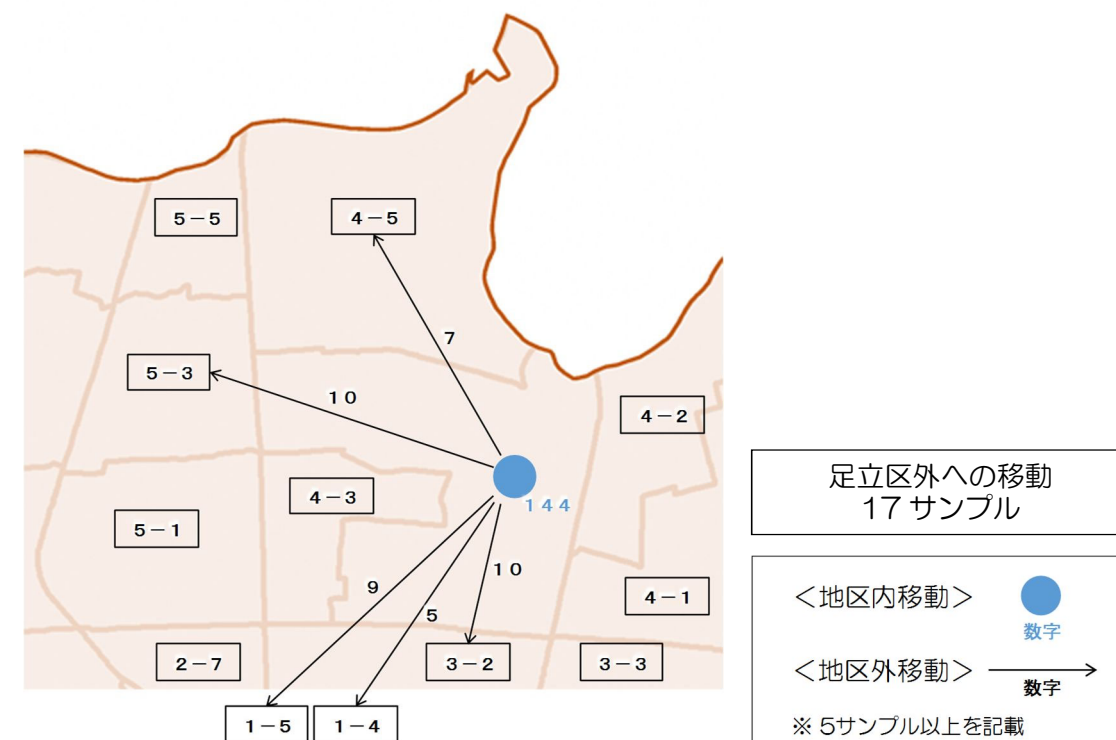


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



足立区外への移動
17サンプル

＜地区内移動＞ ● 数字

＜地区外移動＞ → 数字

※5サンプル以上を記載

4-5地区 花畑一〜八丁目、保木間三〜五丁目、南花畑四・五丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	33.1千人(区内シェア:4.8%)	高齢者数	10.0千人(区内シェア:5.9%)
空白地域人口	4.1千人(区内シェア:12.7%)	高齢化率	30.1%(区平均24.8%)
不便度	B	対策方法	I

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く(交通)・鉄道駅は整備されていない。

・バス系統数が15路線あり、運行本数は733本/日。主な行き先は竹ノ塚や綾瀬、花畑団地方面。
 (道路)・主要幹線道路として国道4号、幹線道路として補256号、補262号などが位置付けられている。
 (まち)・花畑エリアデザイン対象エリア。文教大学が2021年度に開設予定。花畑北部地区は地区計画が策定。

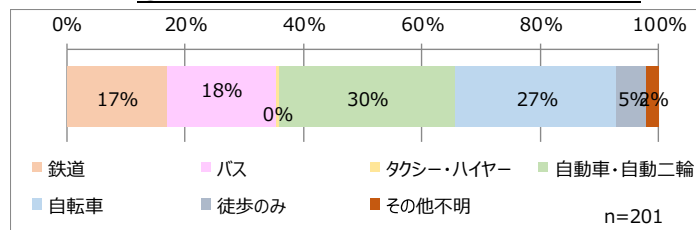
②移動状況〔自地区内〕約3割〔他地区〕4-4地区、5-3地区、草加市への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、4-4地区、5-3地区が多い。

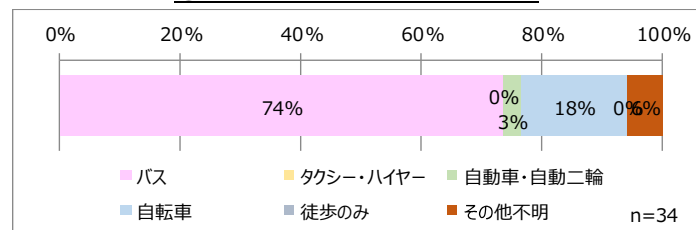
【交通に関する区民意識調査】

①移動手段 ・日常の移動における交通手段は自転車・自動二輪および自転車の利用が多い。
 ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 ・鉄道利用者の利用駅は40%が「竹ノ塚駅」、21%が「谷塚駅」、16%が「六町駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



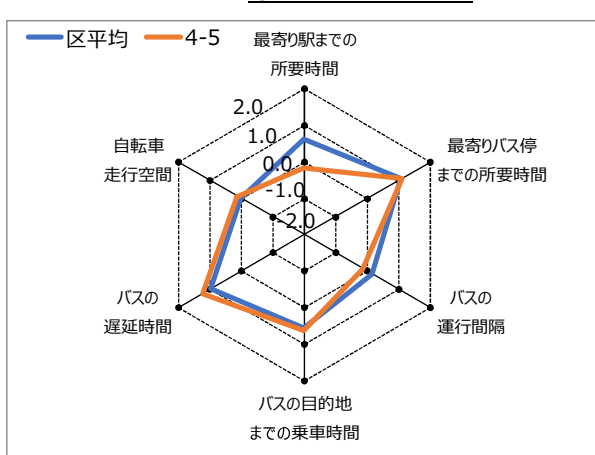
②交通環境満足度

・区の平均と比較して、「最寄り駅までの所要時間」、「バスの運行間隔」に対する満足度が低い。

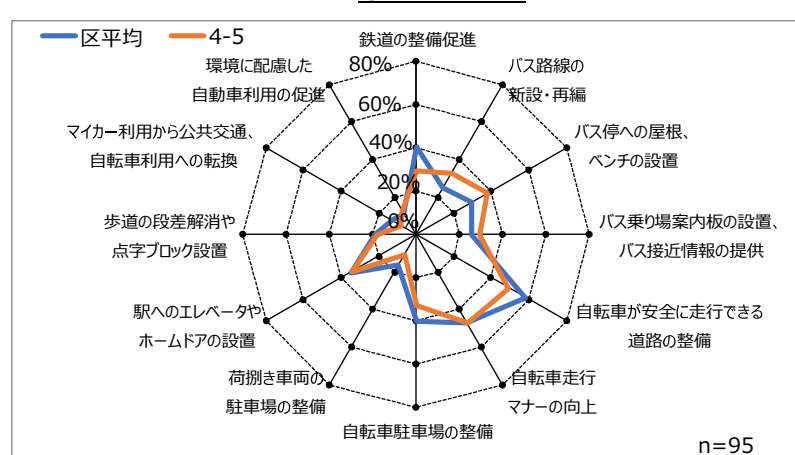
③求める施策

・「バス路線の新設・再編」や「バス停への屋根、ベンチの設置」など、バスに関する要望が多い。
 ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

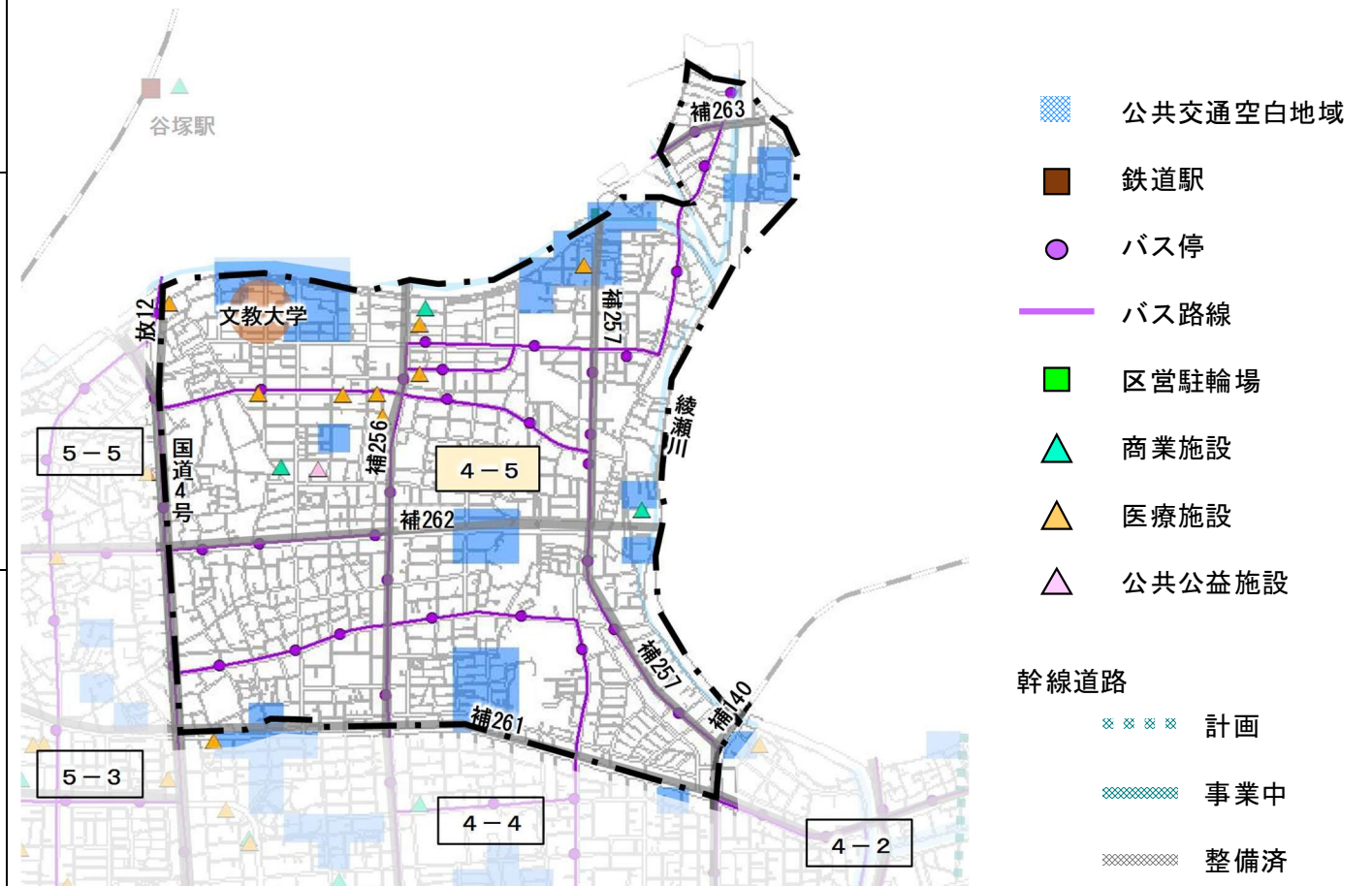


③求める施策

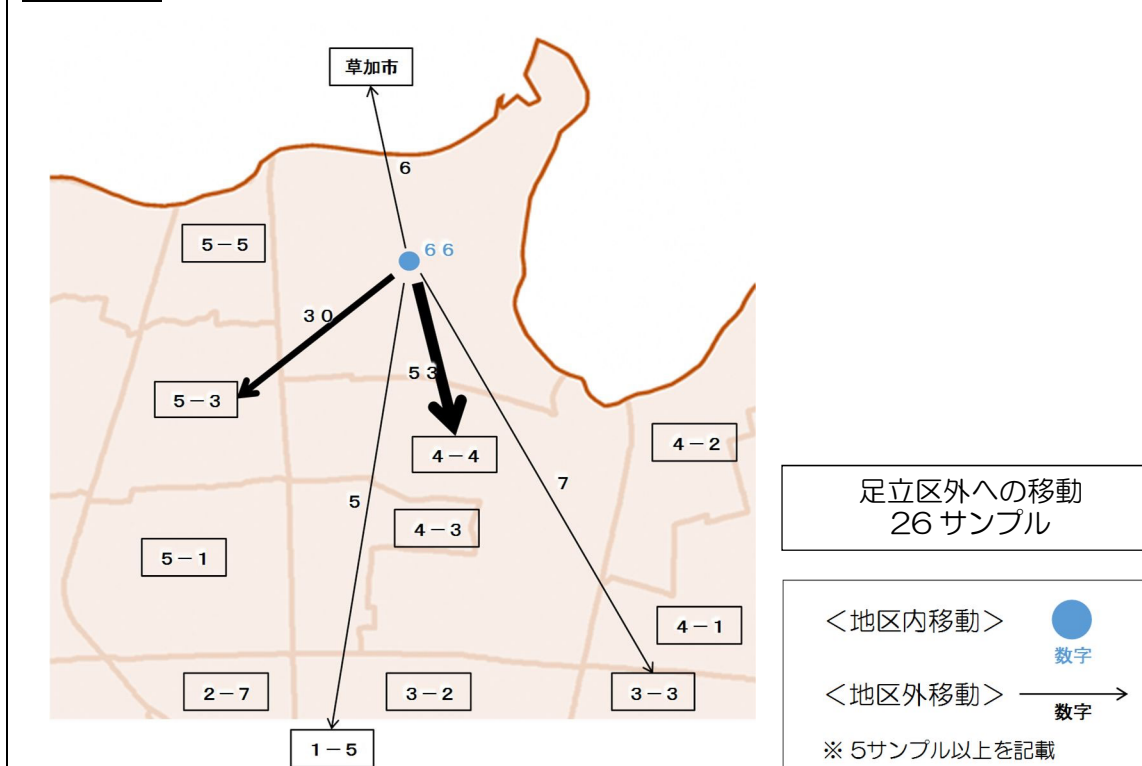


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



5-1 地区 栗原一・二丁目、島根一～四丁目、六月一～三丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	25.8千人(区内シェア:3.8%)	高齢者数	6.3千人(区内シェア:3.7%)
空白地域人口	3.1千人(区内シェア:9.6%)	高齢化率	24.3%(区平均24.8%)
不便度	B	対策方法	I

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く)

(交通)・鉄道駅は整備されておらず、メトロセブンの整備促進が計画されている。

・バス系統数が12路線あり、運行本数は227本/日。主な行き先は王子駅や千住車庫、鹿浜方面。

(道路)・主要幹線道路として国道4号および環状七号線、幹線道路として補255号、補258号などが位置付け。

(まち)・西新井・梅島エリアデザイン対象エリア。地区中央部は、島根二丁目および島根四丁目地区の地区計画。

②移動状況〔自地区内〕約3割〔他地区〕2-5地区、2-7地区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、2-5地区、5-3地区が多い。

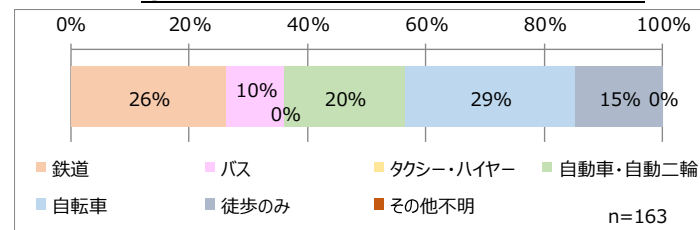
【交通に関する区民意識調査】

①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道および自転車の利用が多い。

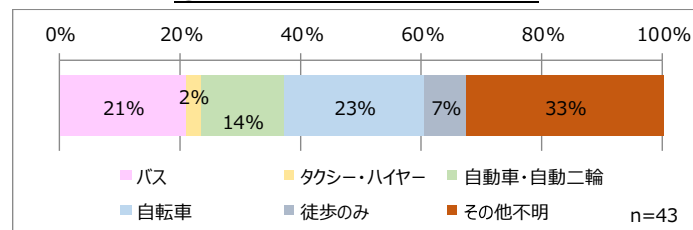
・駅までの交通手段としてはバスおよび自転車が多い。

・鉄道利用者の利用駅は約7割が「西新井駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

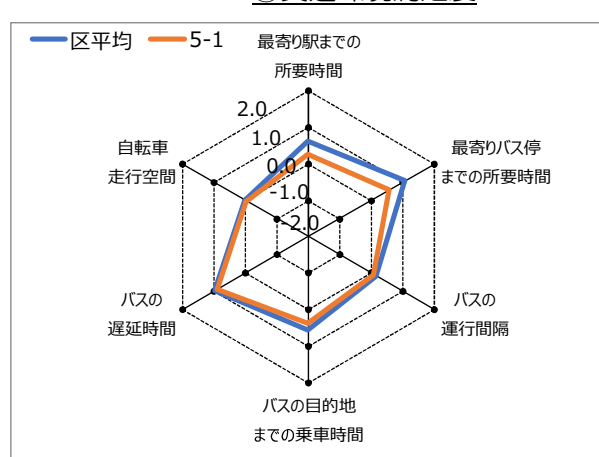
・「最寄り駅およびバス停までの所要時間」、「バスの運行間隔および目的地までの乗車時間」に対する満足度が低い。

③求める施策

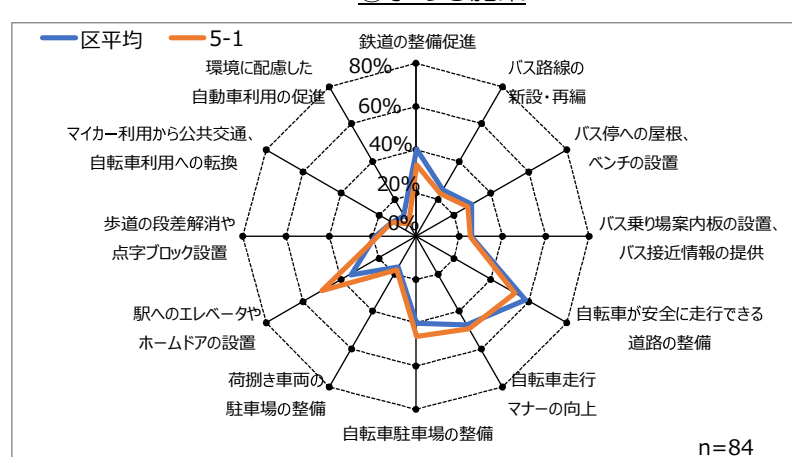
・「駅へのエレベータやホームドアの設置」に関する要望が多い。

・不便を解消するために求められる交通手段は自動車・二輪車。

②交通環境満足度

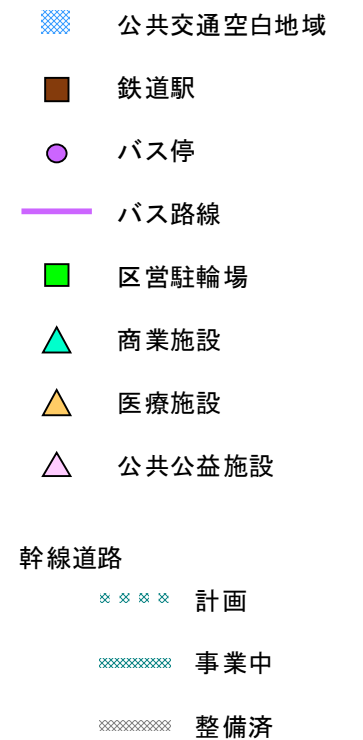
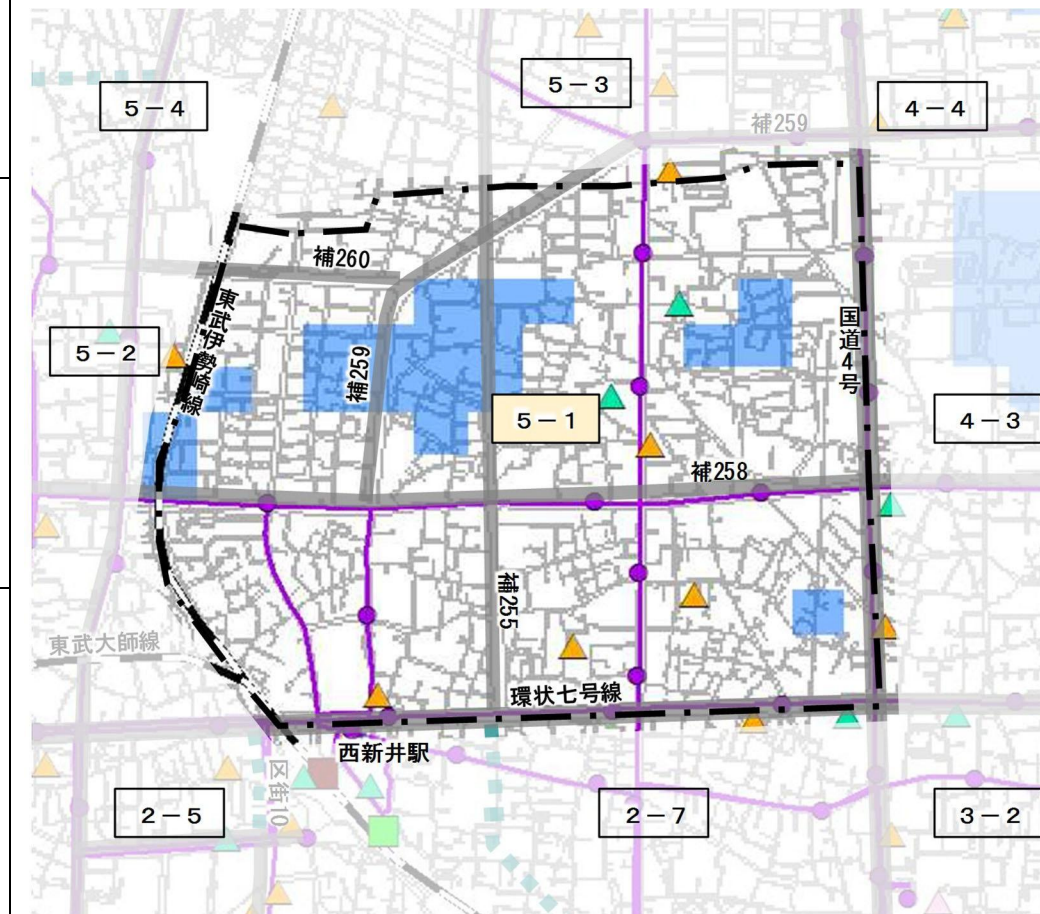


③求める施策

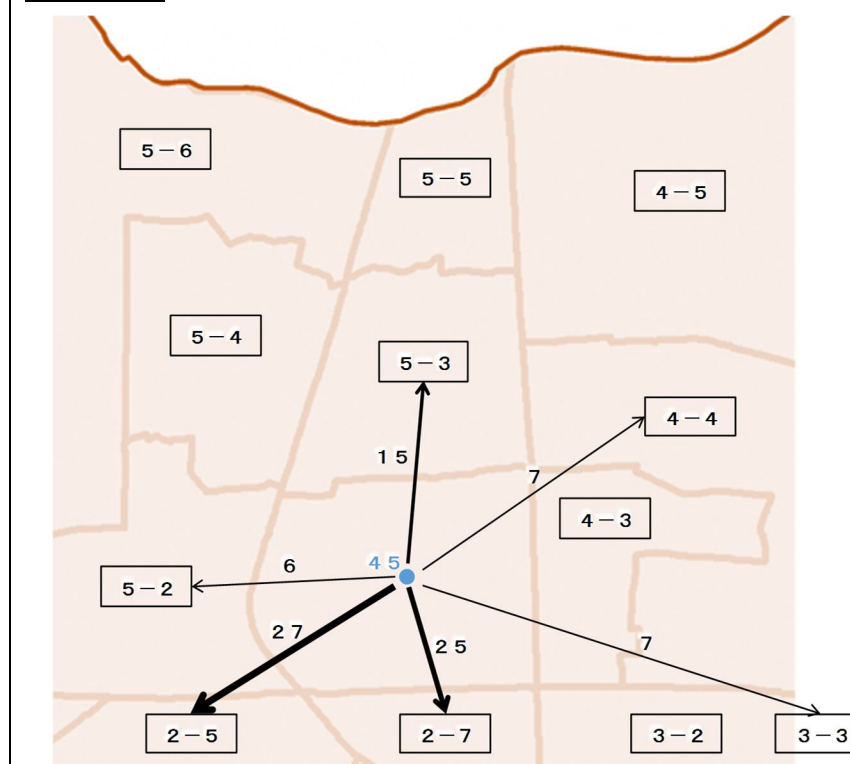


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



足立区外への移動
15サンプル

<地区内移動> ● 数字
<地区外移動> → 数字
※5サンプル以上を記載

5-2地区 栗原三・四丁目、西新井一～三・五・六丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	22.6千人(区内シェア:3.3%)	高齢者数	5.4千人(区内シェア:3.2%)
空白地域人口	空白地域なし	高齢化率	23.9%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	IV

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

- ①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
 (交通)・東武大師線の大師前駅(13,999人/日)が整備されており、メトロセブンの整備促進が計画されている。
 ・バス系統数が18路線あり、運行本数は1,059本/日。主な行き先は西新井や王子、赤羽、鹿浜方面。
 (道路)・補250号および補253号の事業化、大師前駅にバスターミナルの整備が計画されている。
 (まち)・西新井大師の歴史的景観と調和するまちづくりが計画されている。

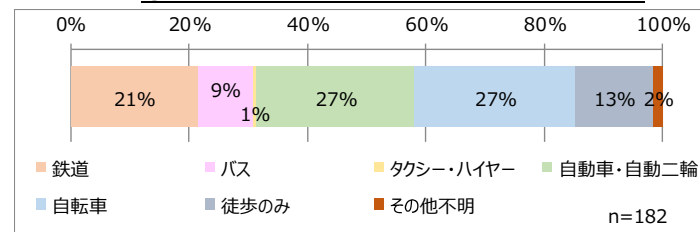
②移動状況〔自地区内〕約4割〔他地区〕2-5地区、5-7地区への移動が多い。

- ・不便を感じている人の行き先は、2-7地区、5-7地区が多い。

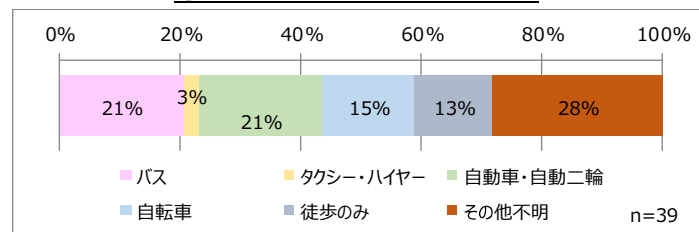
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道、自転車・自動二輪および自転車の利用が多い。
 ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 ・鉄道利用者の利用駅は36%が「大師前」、30%が「西新井駅」、15%が「西新井大師西駅」を利用。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



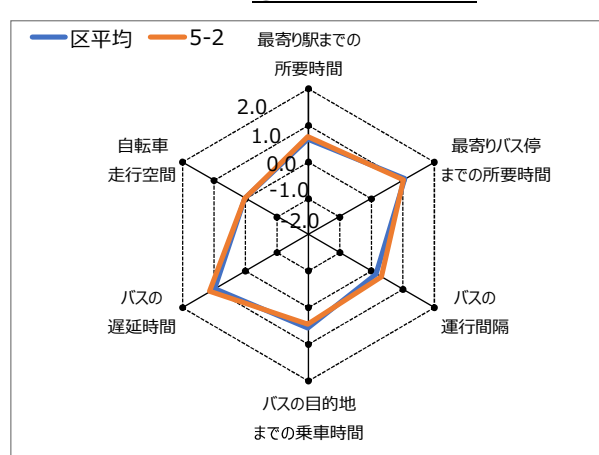
②交通環境満足度

- ・区の平均と比較して、「最寄りバス停までの所要時間」、「バスの目的地までの乗車時間」に対する満足度が低い。

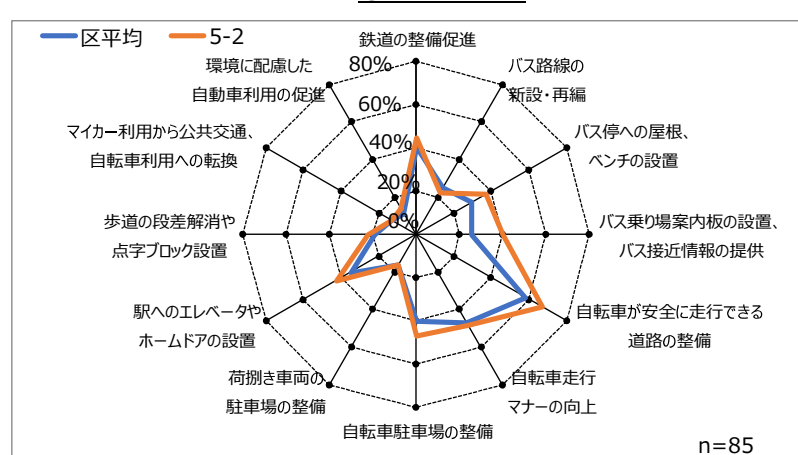
③求める施策

- ・「バス停への屋根、ベンチの設置」や「バスに関する運行情報の提供」など、バスに関する要望が多い。
- ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

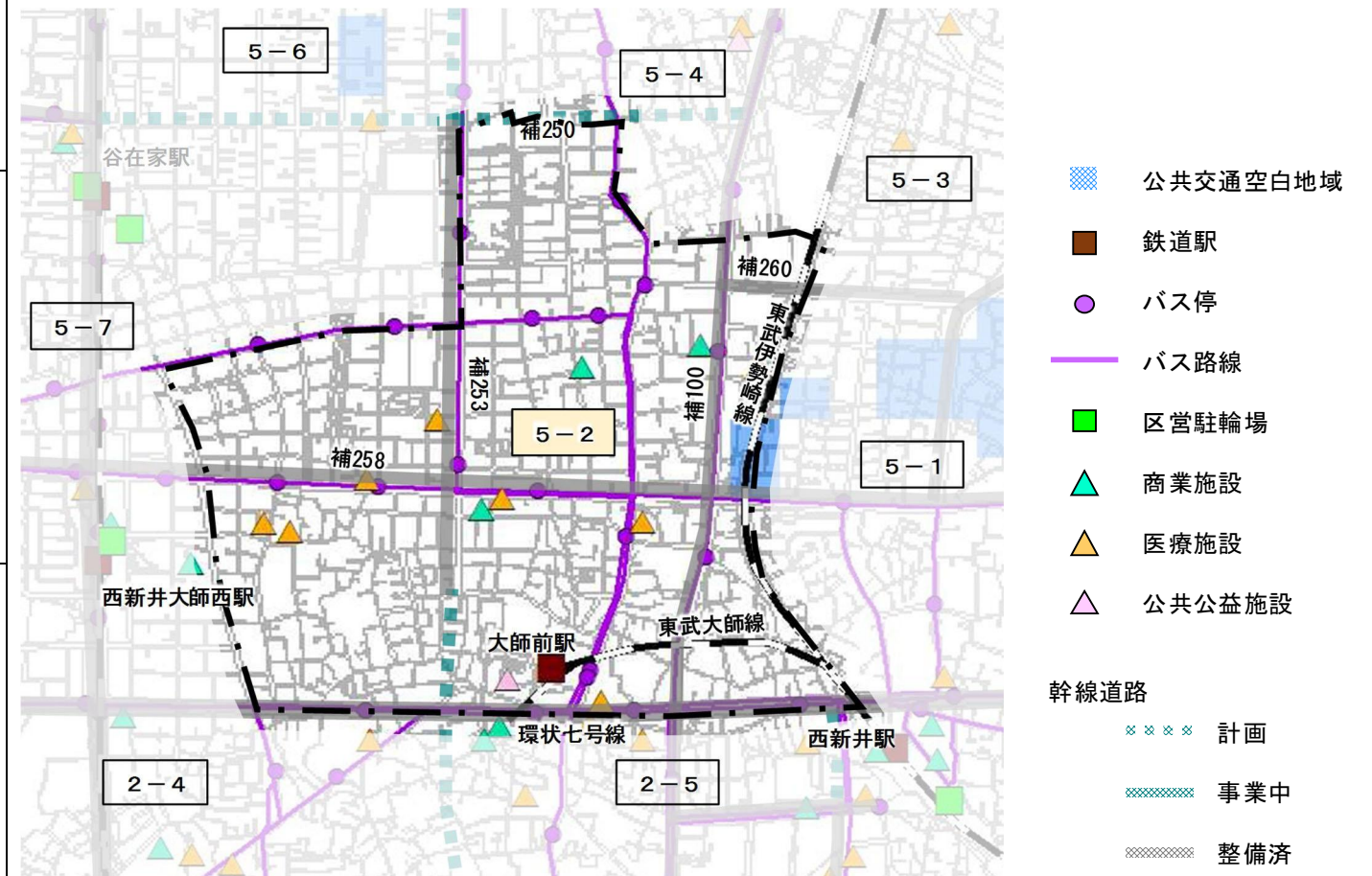


③求める施策

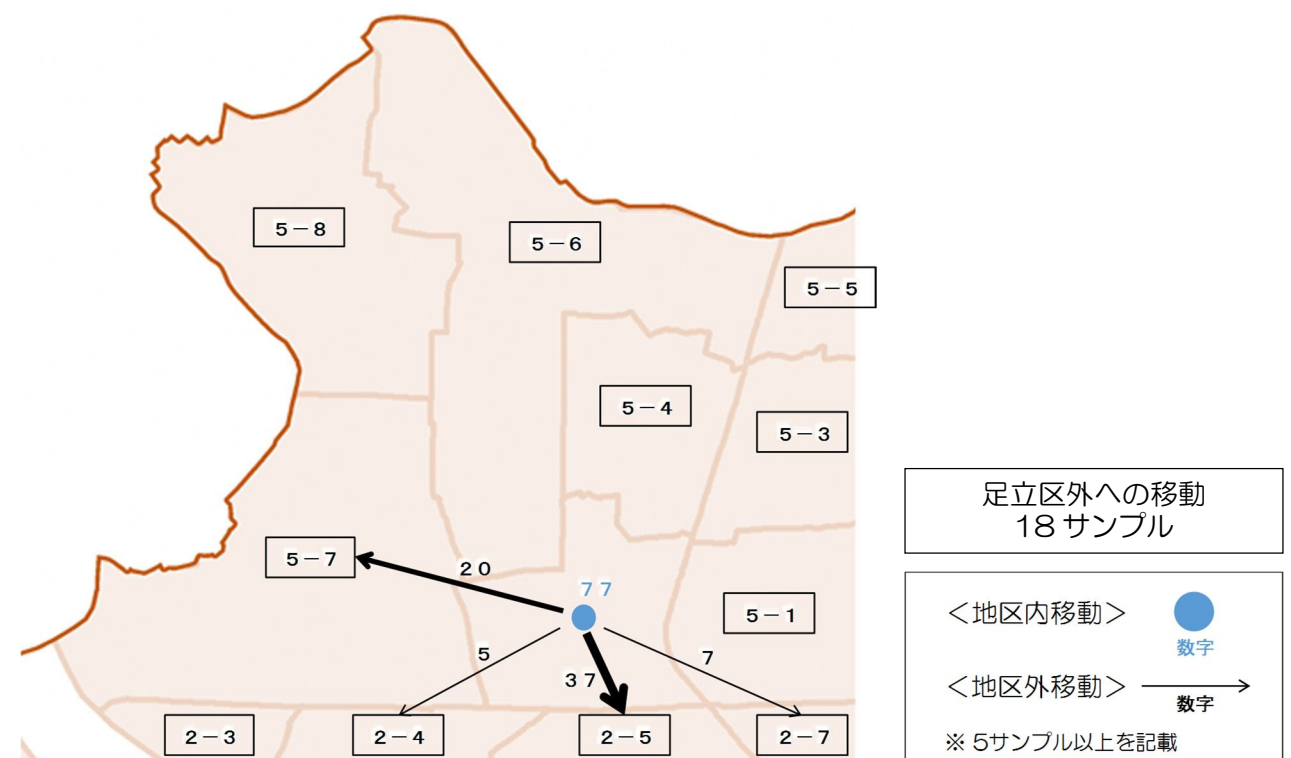


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



5-3地区 竹の塚一〜六丁目、西保木間一丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	19.0千人(区内シェア:2.8%)	高齢者数	5.4千人(区内シェア:3.2%)
空白地域人口	0.6千人(区内シェア:1.8%)	高齢化率	28.7%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	Ⅲ

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く)

(交通)・東武伊勢崎線の竹ノ塚駅(72,287人/日)が整備されている。

・バス系統数が13路線あり、運行本数は687本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や六町駅方面。

(道路)・竹ノ塚駅東側の駅前広場の拡張、東西駅前広場間の動線を確認し、交通利便性の向上が計画されている。

(まち)・竹ノ塚エリアデザイン対象エリア。鉄道高架化に伴う拠点整備のまちづくりが計画されている。

②移動状況〔自地区内〕約6割〔他地区〕4-4地区、2-5地区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、5-3地区、2-5地区が多い。

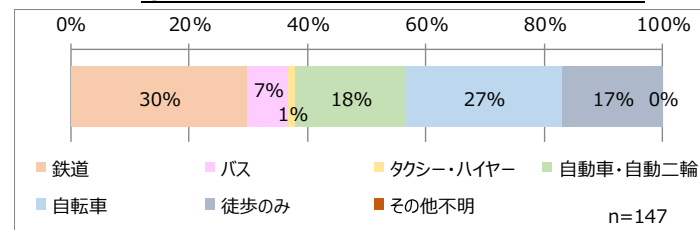
【交通に関する区民意識調査】

①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道および自転車の利用が多い。

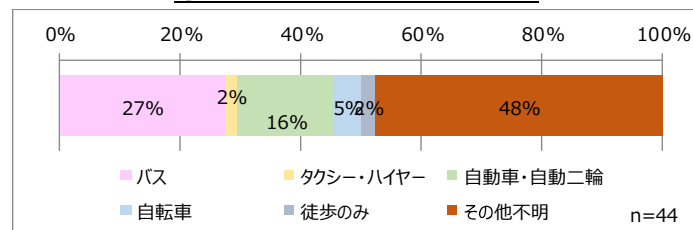
・駅までの交通手段としてはバスが多い。

・鉄道利用者の利用駅は95%が「竹ノ塚駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

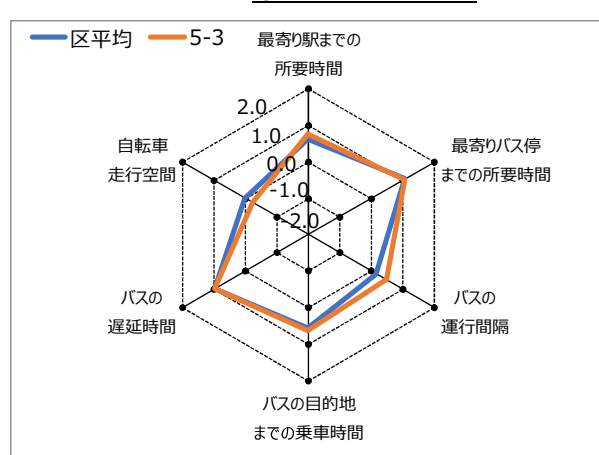
・区の平均と比較して、「最寄りバス停までの所要時間」、「自転車走行空間」に対する満足度が低い。

③求める施策

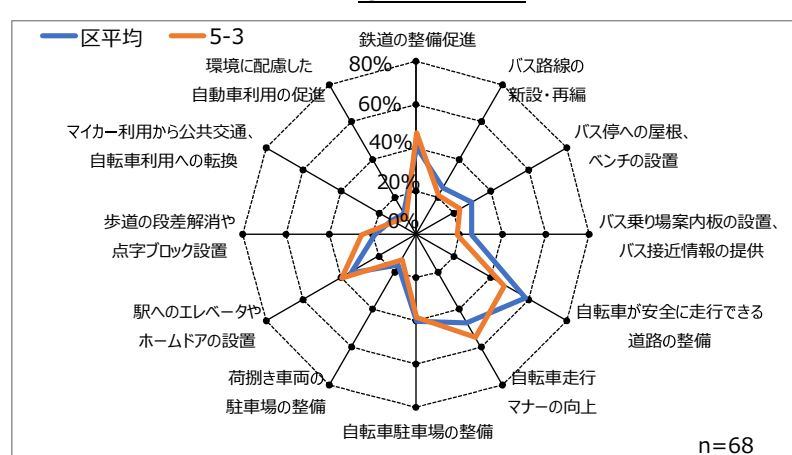
・「自転車走行マナーの向上」や「駅へのエレベータやホームドアの設置」に関する要望が多い。

・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

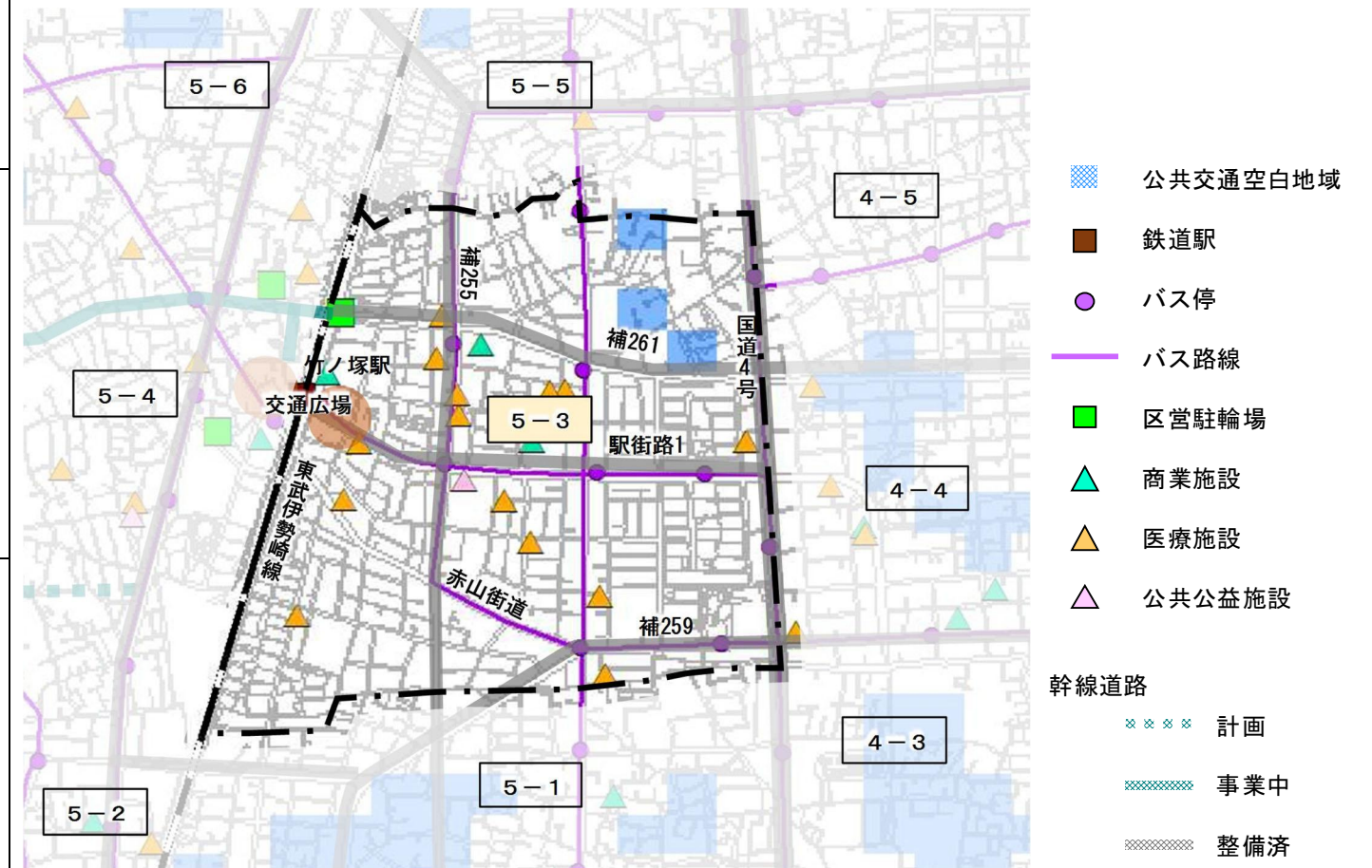


③求める施策



現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



5-4地区 伊興一〜五丁目、伊興本町一丁目、西竹の塚一・二丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	17.1千人(区内シェア:2.5%)	高齢者数	4.1千人(区内シェア:2.4%)
空白地域人口	0.5千人(区内シェア:1.7%)	高齢化率	23.8%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	IV

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く(交通)・東武伊勢崎線の竹ノ塚駅(72,287人/日)が整備されている。

- ・バス系統数が14路線あり、運行本数は393本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や六町駅方面。
- (道路)・補261号と区街14号の事業促進、補250号および補253号の事業化が計画されている。
- (まち)・竹ノ塚エリアデザイン対象エリア。地区北辺〜西辺部にかけて、地区計画が策定されている。

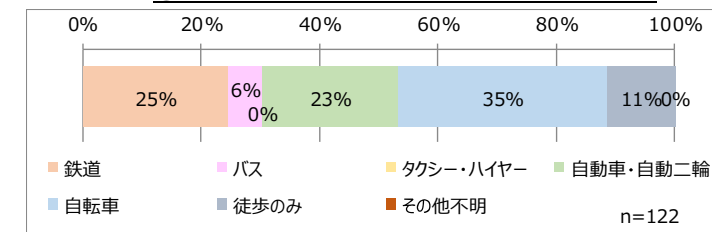
②移動状況〔自地区内〕約4割〔他地区〕5-6地区、5-3地区への移動が多い。

- ・不便を感じている人の行き先は、5-4地区が多い。

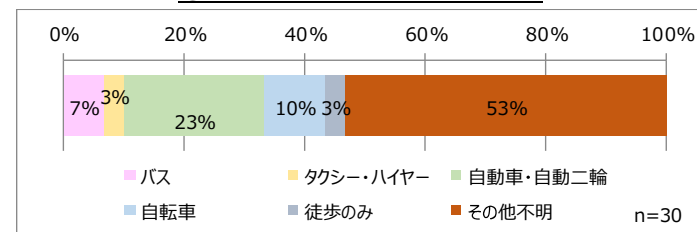
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は鉄道および自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としては自動車・自動二輪が多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は97%が「竹ノ塚駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



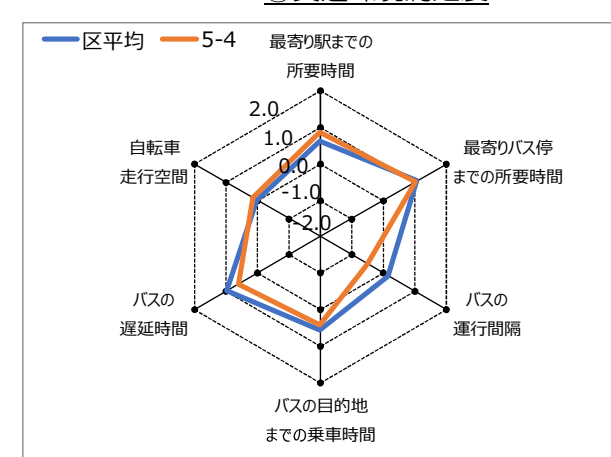
②交通環境満足度

- ・区の平均と比較して、「最寄りバス停までの所要時間などバスのサービス水準」に対する満足度が低い。

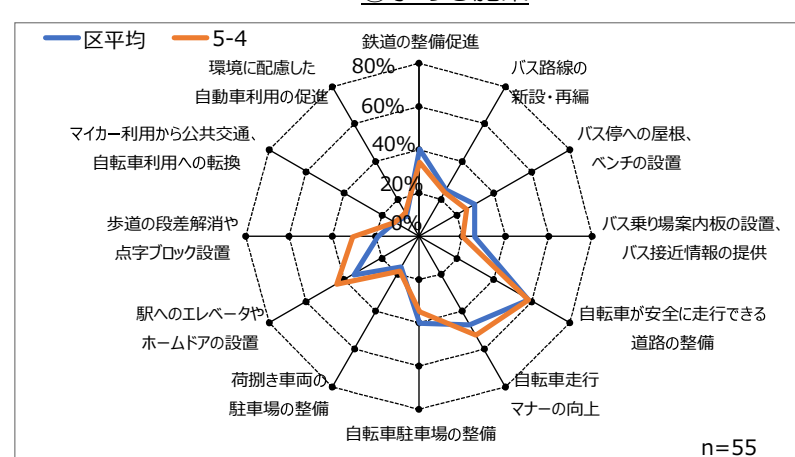
③求める施策

- ・「自転車が安全に走行できる道路の整備」や「自転車走行マナーの向上」など、自転車に関する要望が多い。
- ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

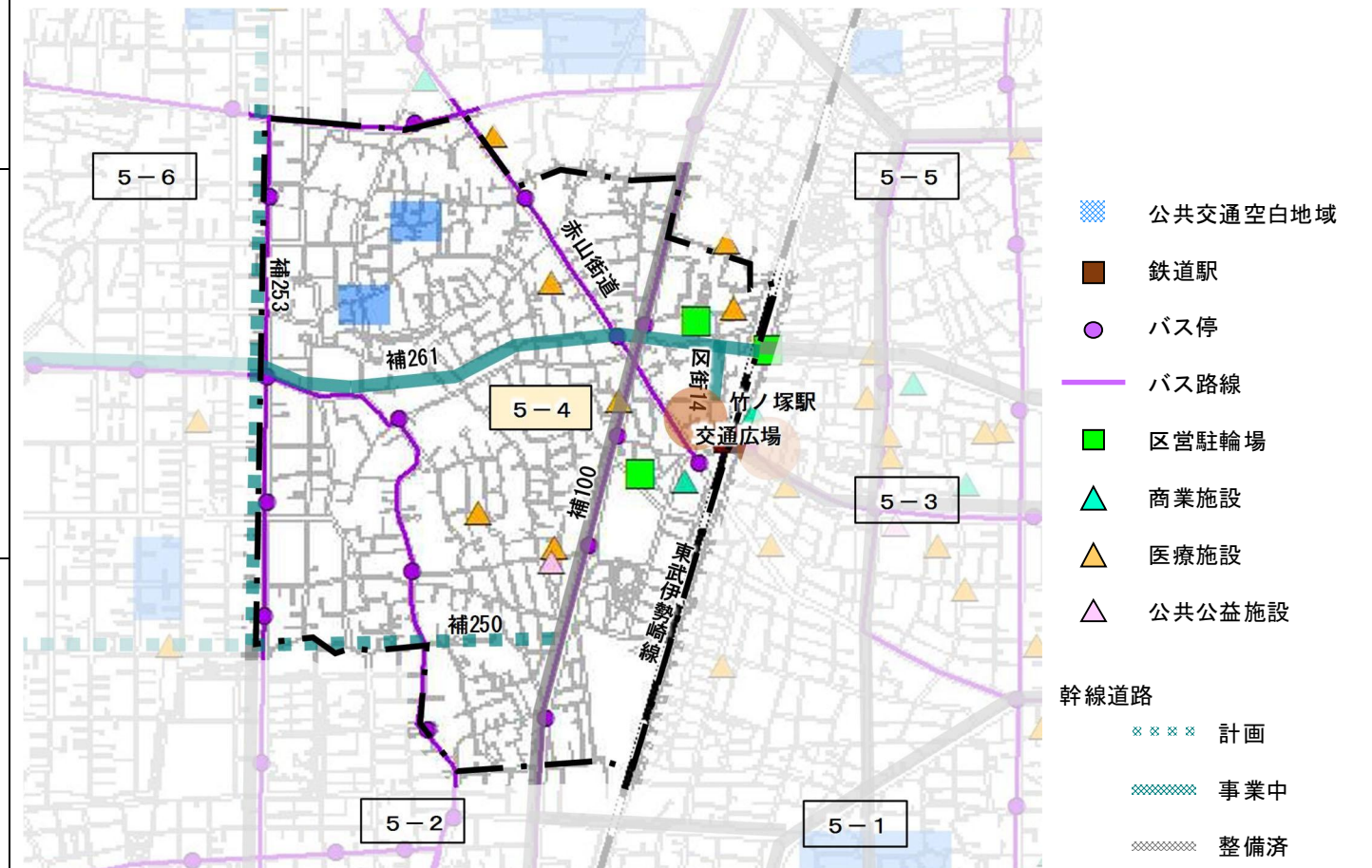


③求める施策

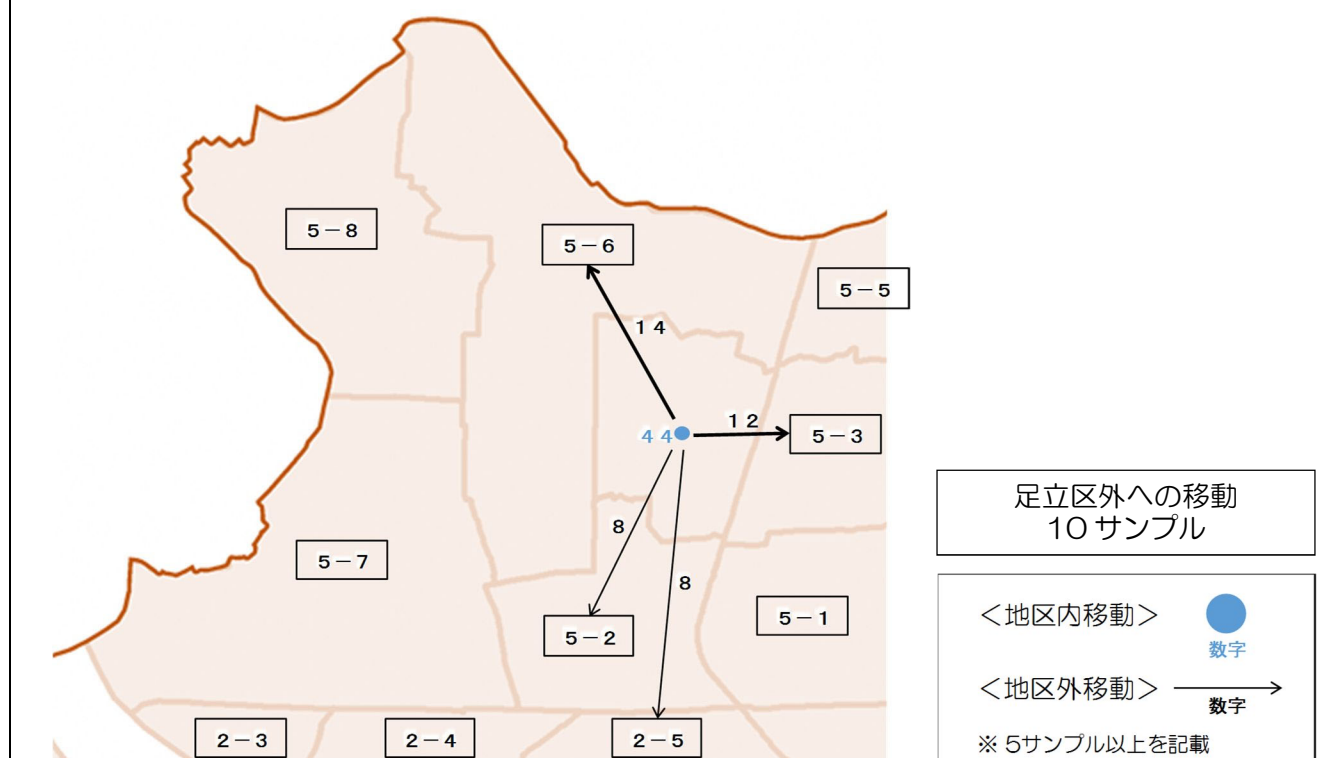


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



5-5地区 竹の塚七丁目、西保木間二~四丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	10.5千人(区内シェア:1.5%)	高齢者数	3.7千人(区内シェア:2.2%)
空白地域人口	0.2千人(区内シェア:0.7%)	高齢化率	35.2%(区平均24.8%)
不便度	D	対策方法	IV

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く(交通)・鉄道駅は整備されていない。

- ・バス系統数が7路線あり、運行本数は296本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や花畑団地方面。(道路)・主要幹線道路として国道4号、幹線道路として補255号、補262号が位置付けられている。(まち)・地区の北西部一帯と南西部の一部は地区計画が策定されている。

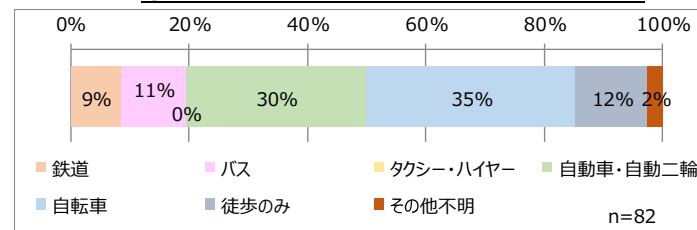
②移動状況〔自地区内〕約3割〔他地区〕5-3地区、4-5地区への移動が多い。

- ・不便を感じている人の行き先は、5-3地区、5-5地区が多い。

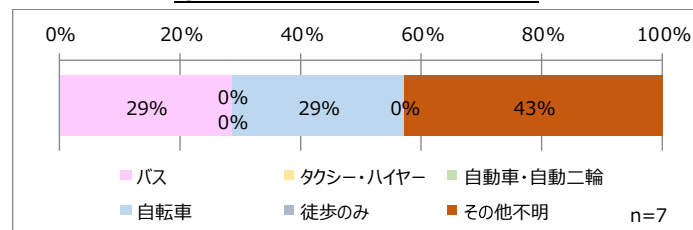
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は自転車・自動二輪および自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としてはバスおよび自転車が多数。
 - ・鉄道利用者の利用駅は約8割が「竹ノ塚駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



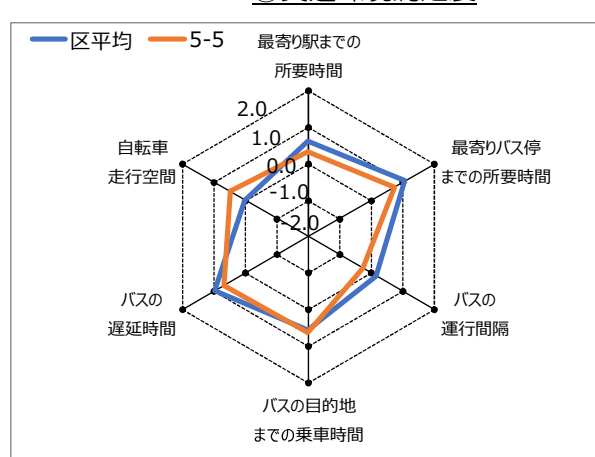
②交通環境満足度

- ・区の平均と比較して、「最寄り駅およびバス停までの所要時間」、「バスのサービス水準」に対する満足度が低い。

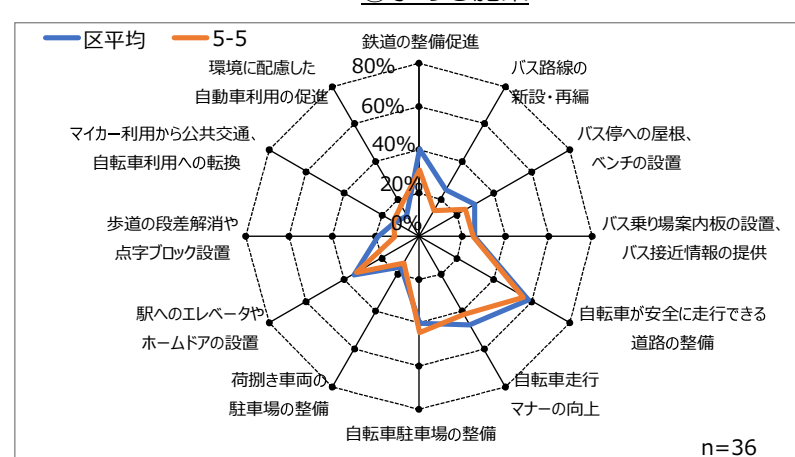
③求める施策

- ・「自転車が安全に走行できる道路の整備」など、自転車に関する要望が多い。
- ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

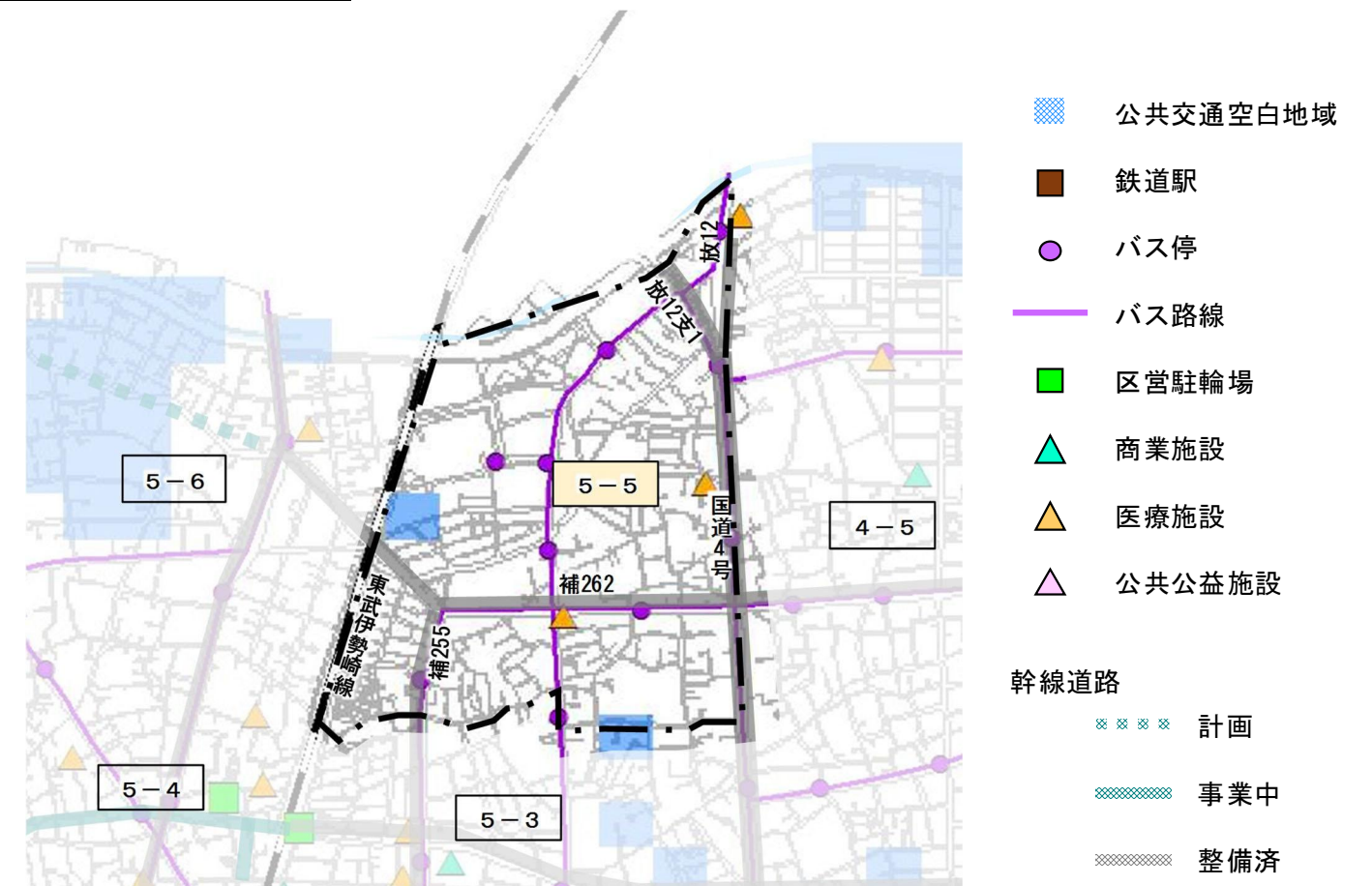


③求める施策

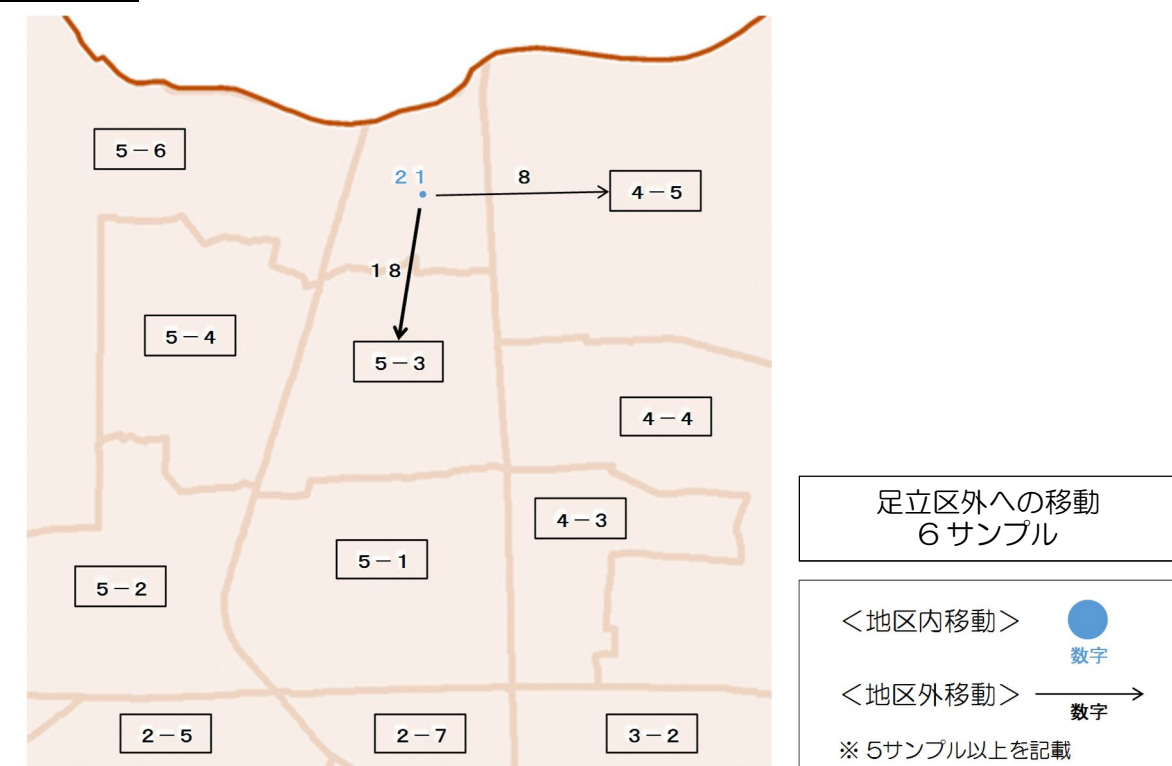


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



5-6地区 伊興本町二丁目、古千谷一・二丁目、古千谷本町一～四丁目、舎人一～五丁目、西新井四丁目、西伊興一～四丁目、西伊興町、東伊興一～四丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	42.1千人(区内シェア:6.1%)	高齢者数	9.7千人(区内シェア:5.7%)
空白地域人口	2.9千人(区内シェア:8.8%)	高齢化率	23.0%(区平均24.8%)
不便度	C	対策方法	IV

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く
 (交通)・舎人公園駅(4,271人/日)、舎人駅(7,369人/日)、見沼代親水公園駅(12,300人/日)が整備。
 ・バス系統数が14路線あり、運行本数は564本/日。主な行き先は竹ノ塚駅や西新井駅、鹿浜方面。
 (道路)・補261号の事業促進、補250号、補253号、補262号の事業化が計画されている。
 (まち)・日暮里・舎人ライナーの利便性を活かしたまちづくりが計画されている。

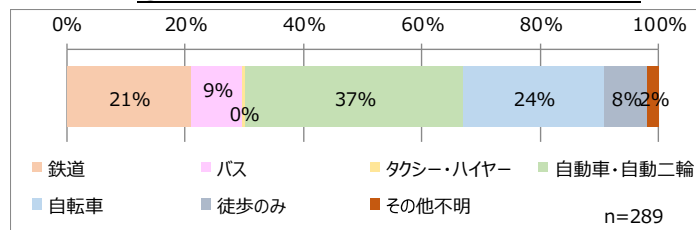
②移動状況〔自地区内〕約4割〔他地区〕5-4地区、5-7地区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、5-6地区、5-3地区、2-5地区が多い。

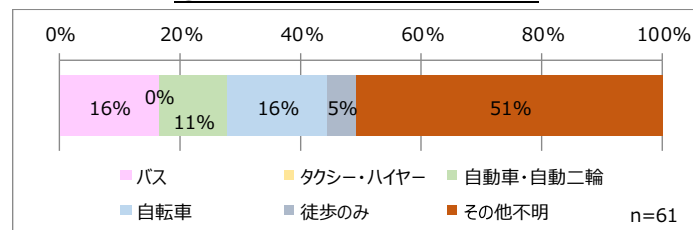
【交通に関する区民意識調査】

①移動手段 ・日常の移動における交通手段は鉄道、自転車・自動二輪および自転車の利用が多い。
 ・駅までの交通手段としてはバスおよび自転車が多数。
 ・鉄道利用者の利用駅は37%が「竹ノ塚駅」、日暮里・舎人ライナーの利用も多い。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



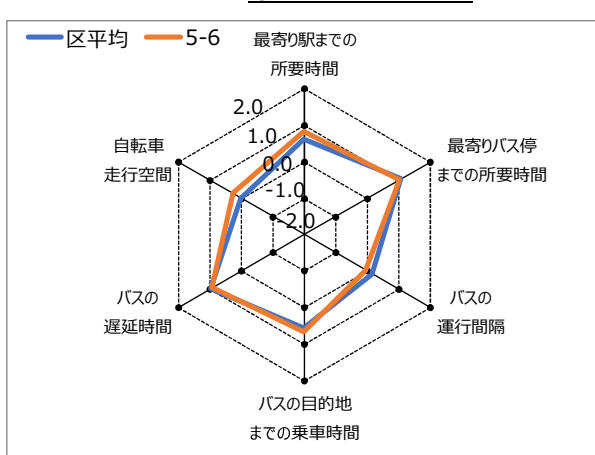
②交通環境満足度

・区の平均と比較して、「最寄りバス停までの所要時間」、「バスの運行間隔」に対する満足度が低い。

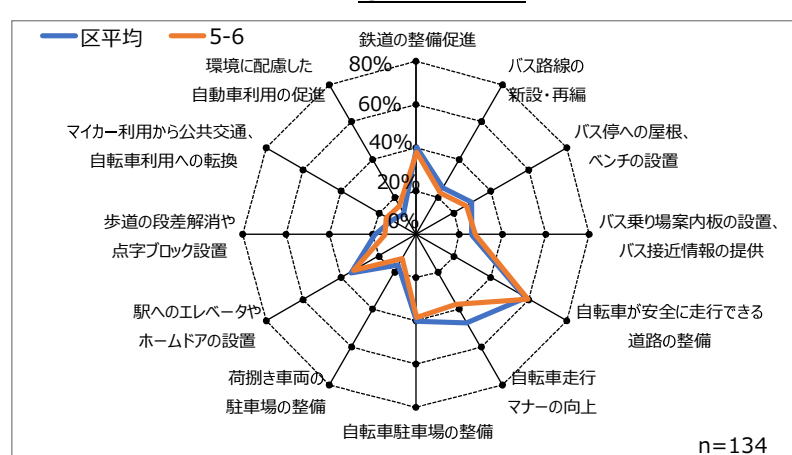
③求める施策

・「自転車が安全に走行できる道路の整備」に関する要望が多い。
 ・不便を解消するために求められる交通手段は自動車・二輪車。

②交通環境満足度

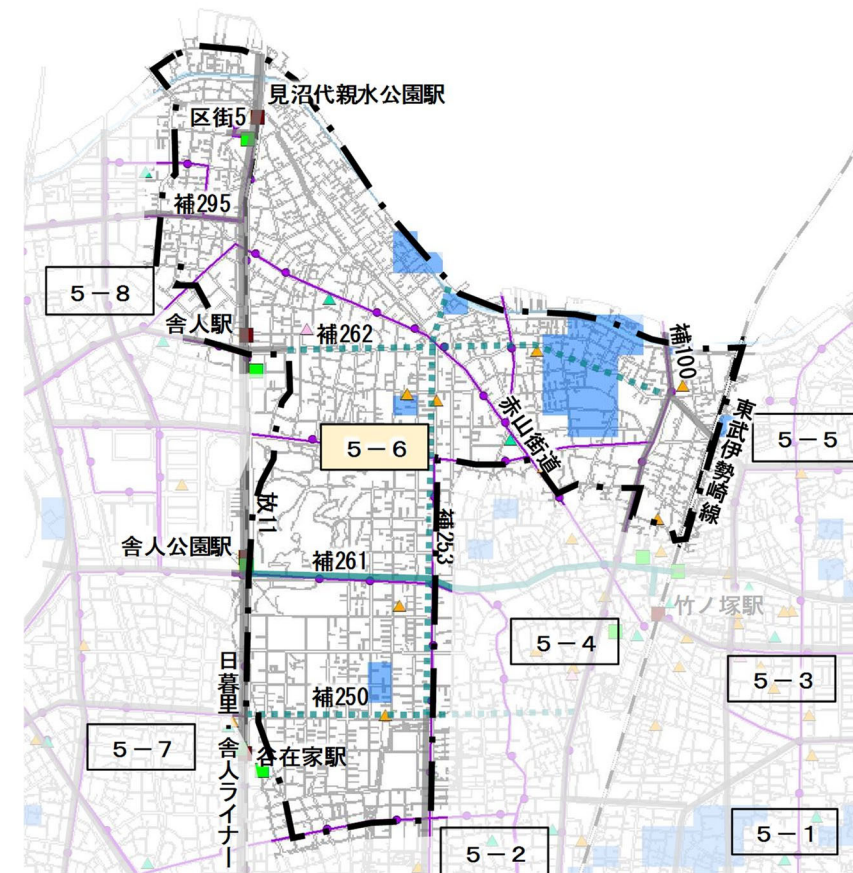


③求める施策

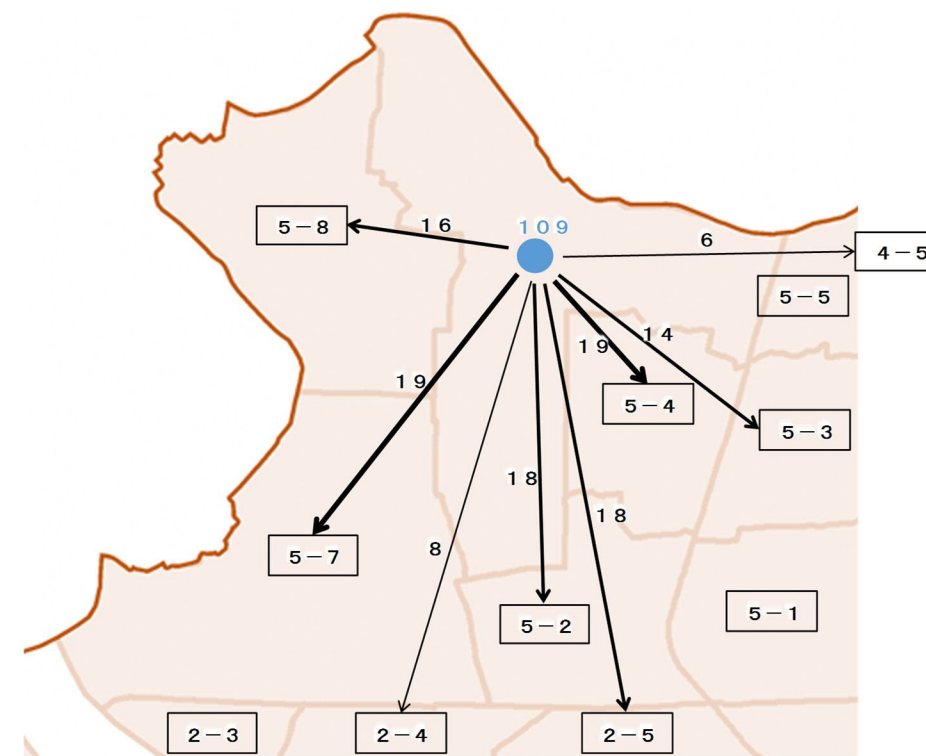


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



足立区外への移動
26サンプル

<地区内移動> ● 数字
 <地区外移動> → 数字
 ※5サンプル以上を記載

5-7地区 加賀一・二丁目、江北六・七丁目、皿沼一〜三丁目、鹿浜二〜八丁目、椿二丁目、西新井七丁目、谷在家一〜三丁目

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	39.6千人(区内シェア:5.8%)	高齢者数	10.4千人(区内シェア:6.1%)
空白地域人口	0.5千人(区内シェア:1.6%)	高齢化率	26.2%(区平均24.8%)
不便度	B	対策方法	Ⅱ

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く)

(交通)・西新井大師西駅(10,677人/日)、谷在家駅(9,169人/日)が整備されている。

・バス系統数が25路線あり、運行本数は846本/日。主な行き先は川口駅や西新井駅、鹿浜方面。

(道路)・幹線道路としての位置付けとなっている鳩ヶ谷街道の歩行者の安全確保が計画されている。

(まち)・江北エリアデザイン対象エリア。日暮里・舎人ライナーの利便性を活かしたまちづくりが計画されている。

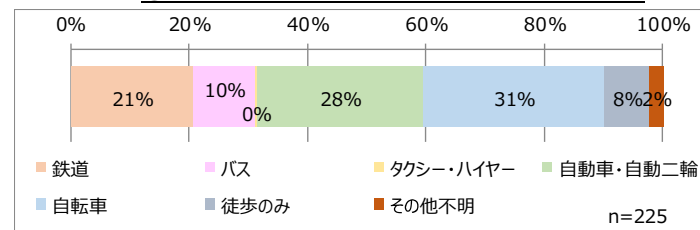
②移動状況〔自地区内〕約5割〔他地区〕2-4地区、2-5地区、5-2地区への移動が多い。

・不便を感じている人の行き先は、5-7地区、2-4地区、2-5地区が多い。

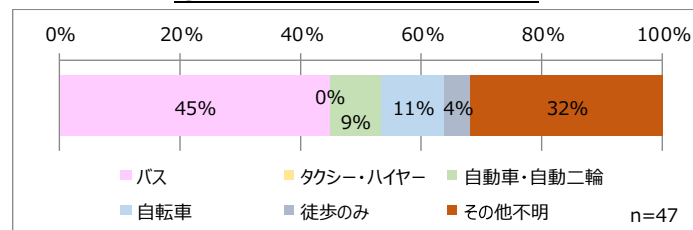
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は自転車・自動二輪および自転車の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としてはバスが多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は31%が「西新井大師西駅」、21%が「西新井駅」、17%が「谷在家駅」。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



②交通環境満足度

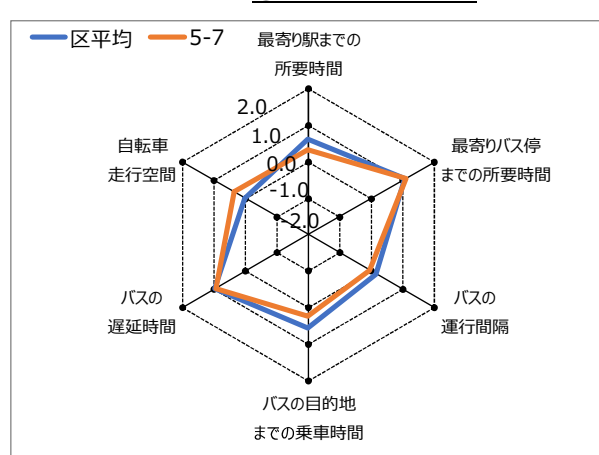
・「最寄り駅までの所要時間」、「バスの運行間隔」、「バスの目的地までの乗車時間」に対する満足度が低い。

③求める施策

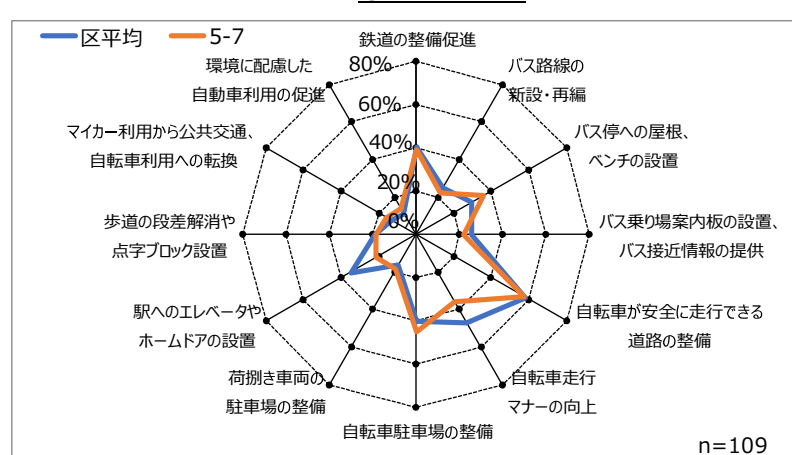
・「バス停への屋根、ベンチの設置」などに関する要望が多い。

・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

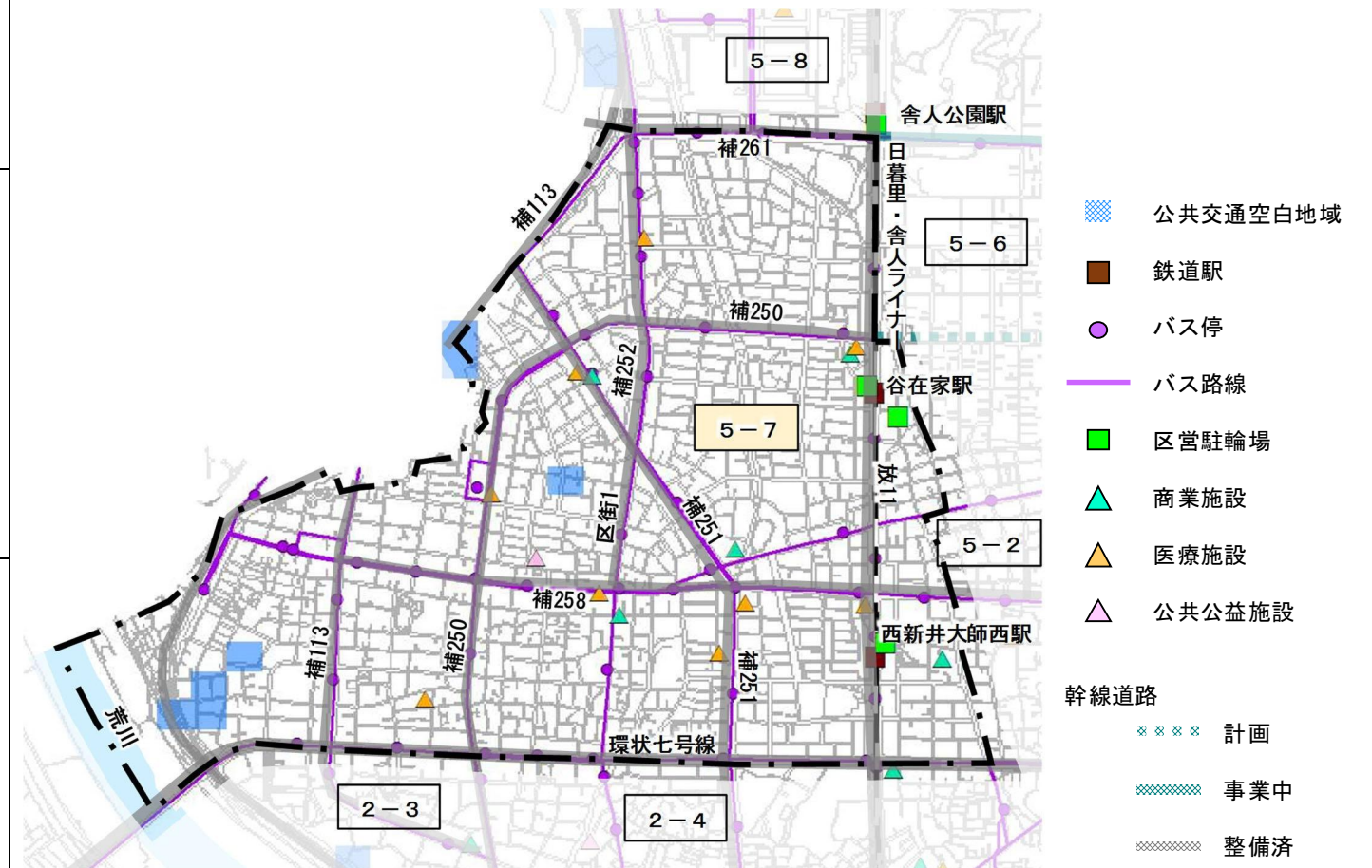


③求める施策

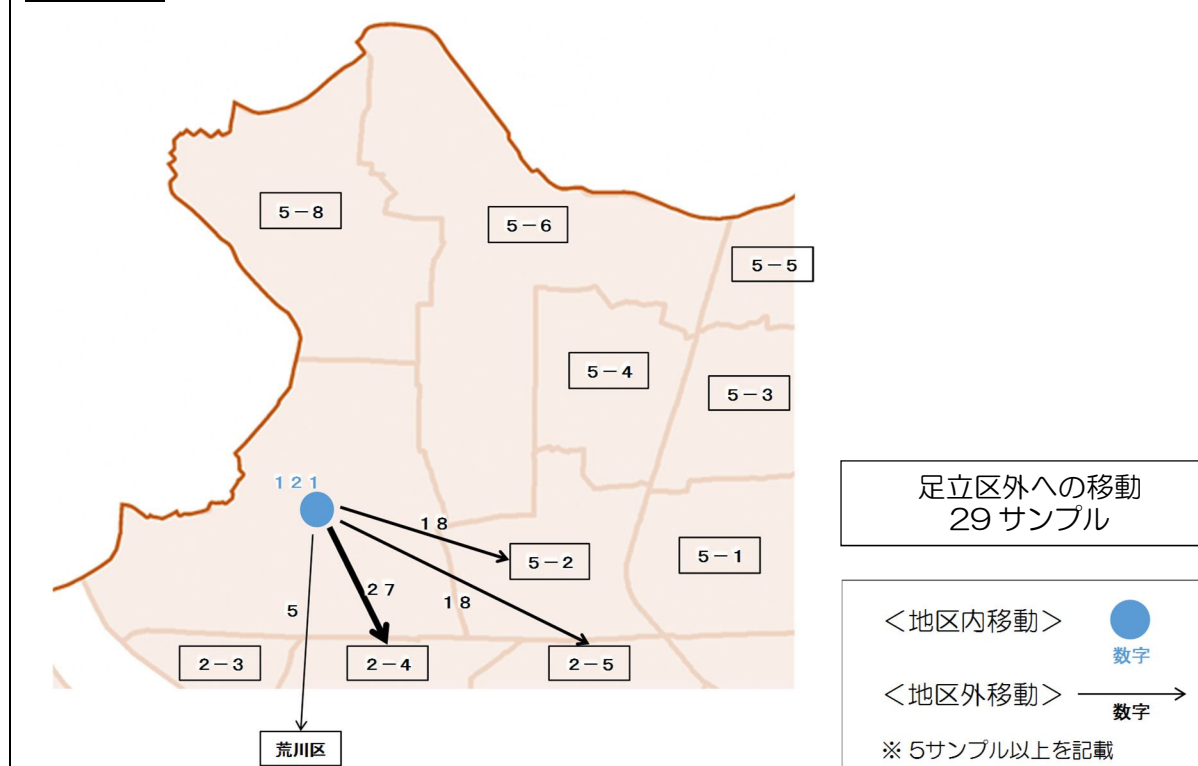


現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況



5-8地区 入谷一〜九丁目、入谷町、舎人六丁目、舎人公園、舎人町

地区の特徴

【人口・高齢化率等】(空白地域人口は2015年、他は2018年1月1日時点)

人口	11.3千人(区内シェア:1.7%)	高齢者数	3.1千人(区内シェア:1.8%)
空白地域人口	0.2千人(区内シェア:0.5%)	高齢化率	27.2%(区平均24.8%)
不便度	A	対策方法	Ⅱ

【地区の現状】※右ページ「現状図」参照

①交通道路まちづくりの状況 ※(交通)の数値(人/日)は鉄道一日平均乗降客数(H28年度)、JRを除く(交通)・日暮里・舎人ライナーの舎人公園駅(4,271人/日)が整備されている。

- ・バス系統数が10路線あり、運行本数は422本/日。主な行き先は川口駅や赤羽駅、舎人団地方面。(道路)・主要幹線道路として放11号、幹線道路として補113号、補252号、補262号などが位置付け。(まち)・地区のほぼ全域が土地区画整理事業完了地区等であり、都市計画道路や公園などが整備されている。

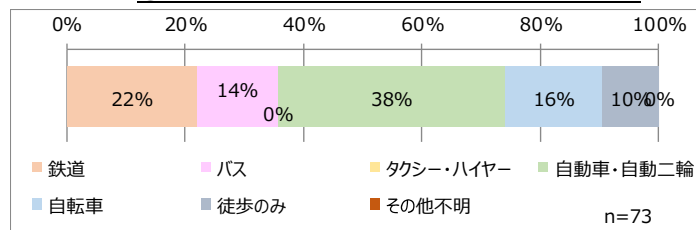
②移動状況〔自地区内〕約4割〔他地区〕5-6地区、5-7地区への移動が多い。

- ・不便を感じている人の行き先は、5-8地区、5-6地区が多い。

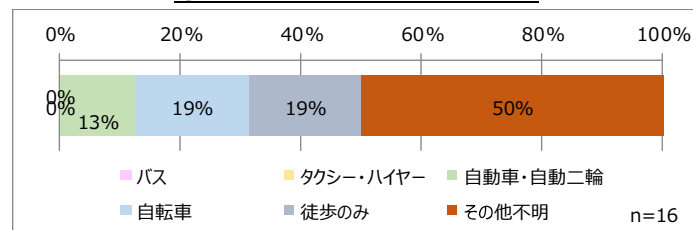
【交通に関する区民意識調査】

- ①移動手段
- ・日常の移動における交通手段は自転車・自動二輪の利用が多い。
 - ・駅までの交通手段としては徒歩および自転車が多い。
 - ・鉄道利用者の利用駅は82%が「舎人駅」を利用している。

①日常の移動における交通手段の分担率



①駅までの交通手段の分担率



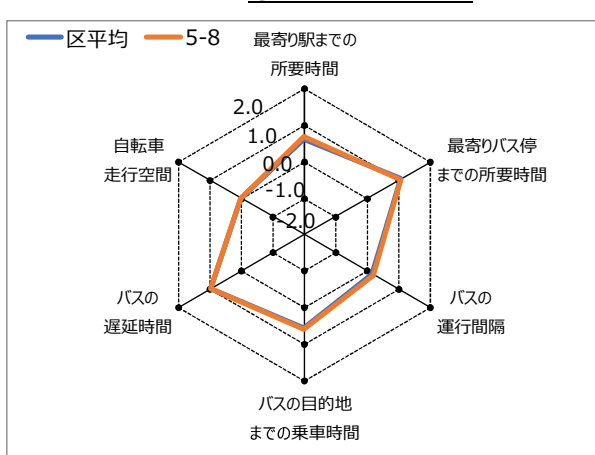
②交通環境満足度

- ・区の平均と比較して、満足度の低い項目は見られない。

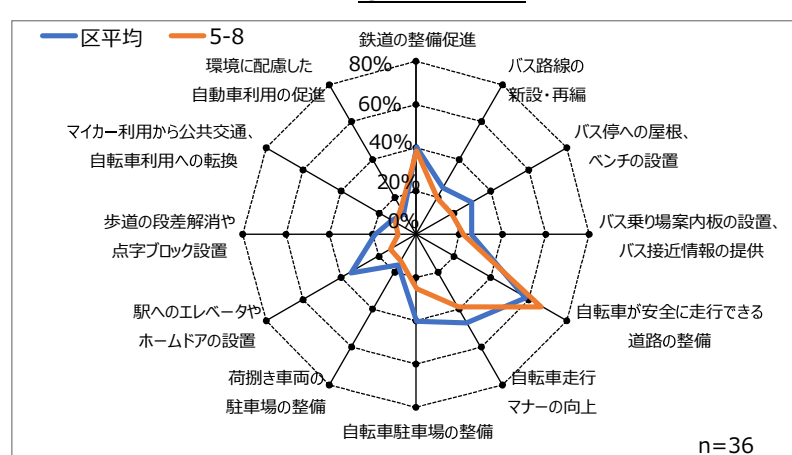
③求める施策

- ・「自転車が安全に走行できる道路の整備」に関する要望が多い。
- ・不便を解消するために求められる交通手段はバス。

②交通環境満足度

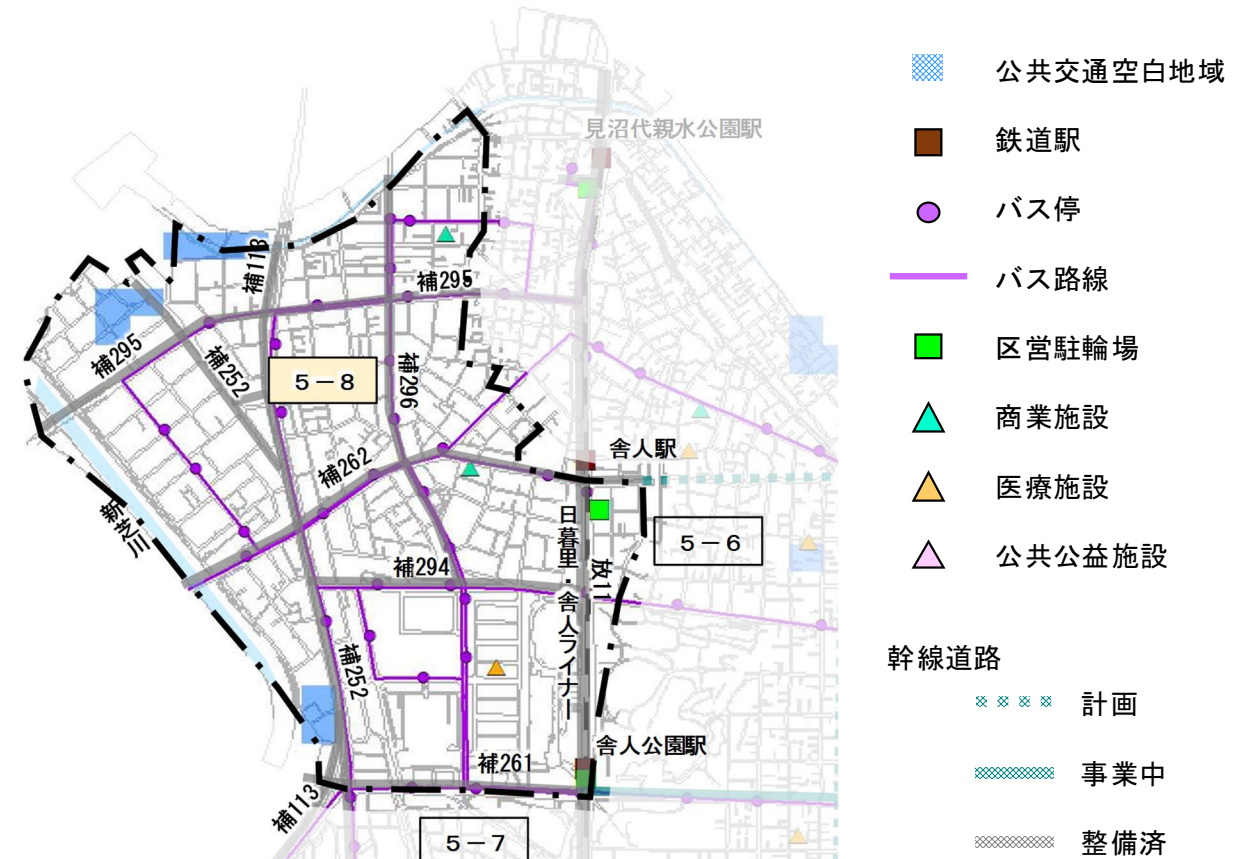


③求める施策



現状図

①交通道路まちづくりの状況



②移動状況

